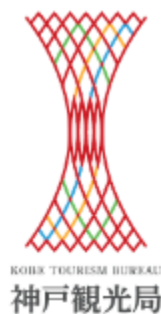


# 神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2024年3月号)

2024年3月26日



## 1. 今月のトピックス

- ・ 2023年 訪日クルーズ旅客数・クルーズ船の寄港回数（速報値） . . . . . P.3～4
- ・ 2023年 年間延べ宿泊者数 速報値 . . . . . P.5～9
- ・ 神戸観光局SNS情報 . . . . . P.10
- ・ 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング . . . . . P.11～13

## 2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～

- ・ 延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県、神戸市）[推計値] . . . . . P.15～19
- ・ 市内ホテル平均稼働率 . . . . . P.20

## 3. インバウンドに関する情報

- ・ 2024年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 . . . . . P.22～23

## 4. 交通機関に関する情報

- ・ 関西国際空港・神戸空港の利用状況 . . . . . P.25
- ・ 関空国際線入国状況 . . . . . P.26
- ・ クルーズ船寄港状況 . . . . . P.27
- ・ 【クルーズ船】4月の入港予定情報 . . . . . P.28

## 5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・ 市内観光案内所（国内）観光客案内件数、（訪日）国籍別対応状況、最新対応概況 P.30～32
- ・ 主要市内観光施設来場者数 . . . . . P.33
- ・ 所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館） . . . . . P.34
- ・ 神戸市内大型施設の主な催事情報（4～5月） . . . . . P.35

- 参考資料集 . . . . . P.36～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。  
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



# 今月のトピックス

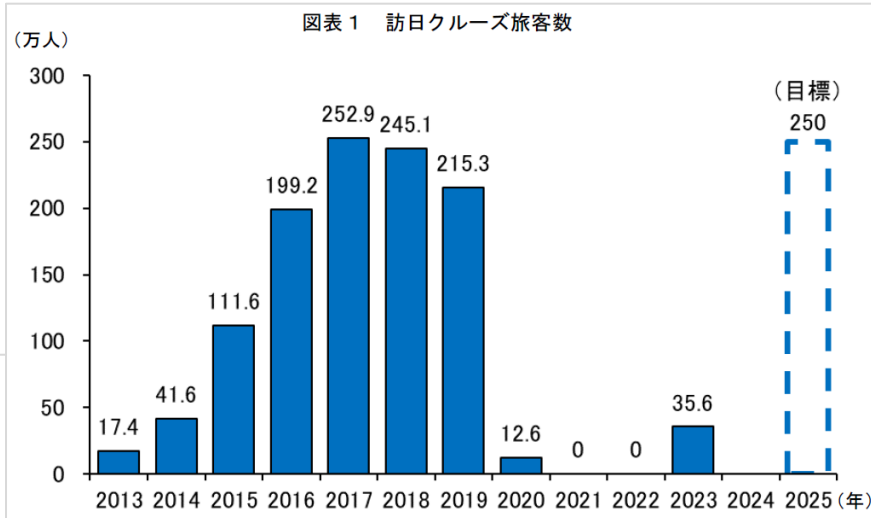
---

# 2023年 訪日クルーズ旅客数・クルーズ船の寄港回数（速報値）

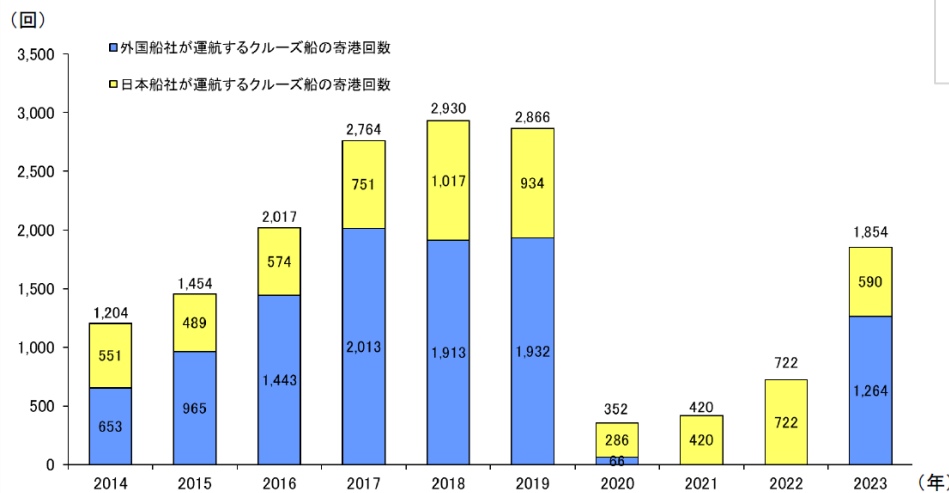
- 国土交通省より2023年年間の訪日クルーズ客数とクルーズ船の寄港回数（速報値）が発表された。
- 2023年1月～12月の訪日クルーズ旅客数は35.6万人、クルーズ船の寄港回数は1,854回（外国クルーズ船：1,264回、日本クルーズ船：590回）
- 神戸はクルーズ船の寄港回数で**全国3位**（91回）  
（外国船社のクルーズ船の寄港回数：**7位**、日本船社のクルーズ船の寄港回数：**3位**）

## 全国の状況

- 2023年1月～12月の訪日クルーズ旅客数は35.6万人となった。
- コロナ前ピーク時水準（2017年）の14%の回復となっており、今後さらなる回復が期待される。
- 「観光立国推進基本計画」（R5.3.31閣議決定）では目標値として「訪日クルーズ旅客250万人」を掲げており、達成率は14.2%。



図表2 我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数



- 2023年1月～12月のクルーズ船の寄港回数は1,854回（外国クルーズ船：1,264回、日本クルーズ船：590回）
- コロナ前ピーク時水準（2018年）の68%の回復となった。
- 「観光立国推進基本計画」（R5.3.31閣議決定）では目標値に「外国クルーズ船の寄港回数2000回超」「外国クルーズが寄港する港湾数100港」を掲げている。

# 2023年 訪日クルーズ旅客数・クルーズ船の寄港回数（速報値）

## 港湾別 寄港回数

### 1. クルーズ船の寄港回数（全体）

順位	2018年		2019年		2023年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	279	那覇	260	横浜	171
2	那覇	243	博多	229	長崎	96
3	長崎	220	横浜	188	ベラビスタマリーナ	91
					神戸	91
4	横浜	168	長崎	183	—	—
5	平良	143	石垣	148	鹿児島	82
6	神戸	136	平良	147	那覇	79
7	ベラビスタマリーナ	122	神戸	131	博多	75
8	佐世保	108	鹿児島	106	広島	59
9	石垣	107	ベラビスタマリーナ	100	清水	57
10	鹿児島	100	佐世保	79	高知	53
	その他	1,304	その他	1,295	その他	1,000
	合計	2,930	合計	2,866	合計	1,854

・2023年、神戸はクルーズ船の寄港回数で全国3位となった。

（外国船社のクルーズ船の寄港回数：7位、

日本船社のクルーズ船の寄港回数：3位）

・全体数では、神戸はピーク時（2018年）と比較すると66%の寄港回数まで回復。

・2024年3月は17隻のクルーズ船が入港（うち初入港5隻）

・2024年4月も18隻（うち初入港2隻）のクルーズ船の入港が予定されており、今後さらに入港予定の船が増えることが期待される。

出典：国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2023年速報値）」

[https://www.mlit.go.jp/report/press/port04\\_hh\\_000447.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port04_hh_000447.html)

### 2. 外国船社のクルーズ船の寄港回数

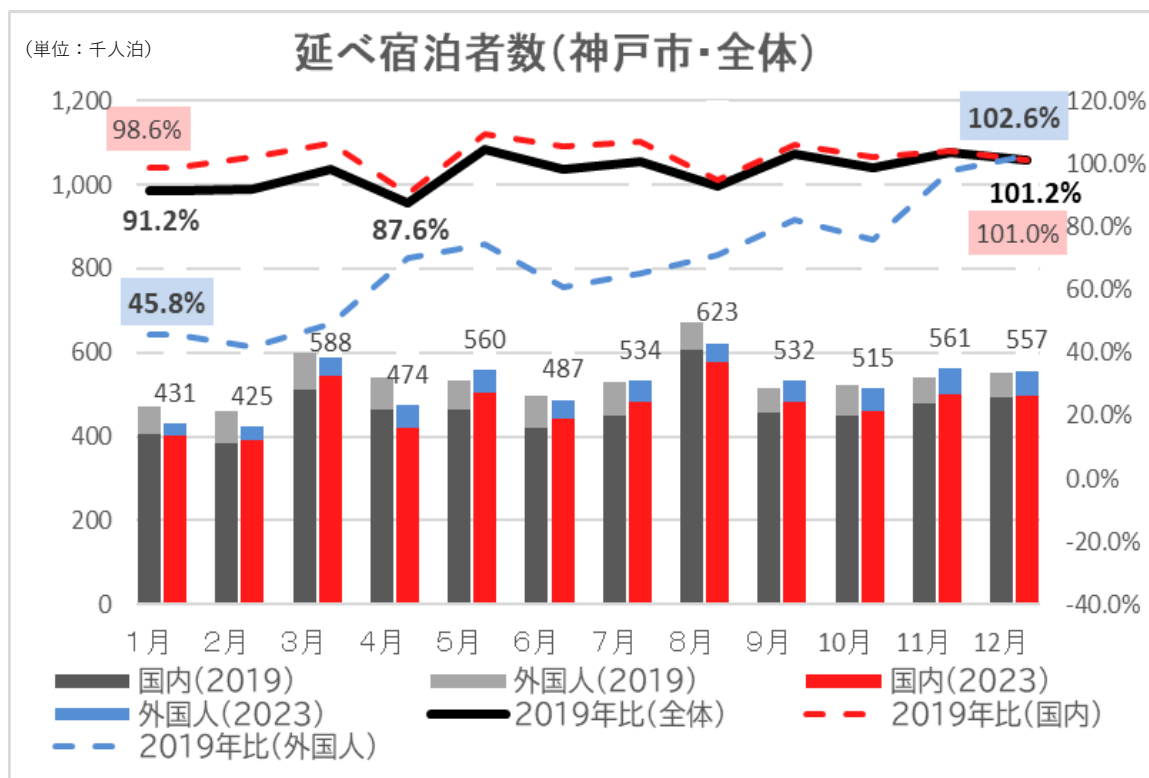
順位	2018年		2019年		2023年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	263	那覇	251	横浜	101
2	那覇	236	博多	205	長崎	95
3	長崎	215	長崎	178	鹿児島	78
4	平良	142	石垣平良	146	那覇	72
5	石垣	105	—	—	博多	59
6	佐世保	105	鹿児島	95	広島	58
7	鹿児島	96	横浜	87	神戸	54
8	横浜	70	佐世保	77	清水	53
9	神戸	66	神戸	63	高知	51
10	広島	44	大阪	57	大阪	46
	その他	571	その他	627	その他	597
	合計	1,913	合計	1,932	合計	1,264

### 3. 日本船社のクルーズ船の寄港回数

順位	2018年		2019年		2023年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	ベラビスタマリーナ	122	横浜	101	ベラビスタマリーナ	91
2	横浜	98	ベラビスタマリーナ	100	横浜	70
3	神戸	70	神戸	68	神戸	37
4	宮島	62	宮島	42	小豆島	33
5	福山	48	大三島（愛媛県）	31	厳島	26
6	大三島（愛媛県）	37	名古屋	30	東京博多	16
7	倉橋漁港名古屋	29	福山	26	—	—
8	—	—	博多	24	金沢	11
					大三島（愛媛県）竹原	11
9	金風呂漁港	25	笠島漁港	23	—	—
10	直島	24	直島	17	—	—
	その他	473	その他	472	その他	268
	合計	1,017	合計	934	合計	590

# 2023年 年間延べ宿泊者数 速報値 (神戸市)

## ■ 2023年 神戸市延べ宿泊者数



### 全体でコロナ前水準まで回復 KPIは99.7%の達成

- ・ 2023年 神戸市の延べ宿泊者数は**628.6万人泊**となった。**2019年比では、99.0%の回復と見込んでいる。**  
(2023年KPI達成率：99.7%)
- ・ うち、国内が**570.3万人**、インバウンドが**58.2人泊**となり、インバウンドのシェアは全体の約**9.3%**となった。
- ・ 2019年比では、国内は**101.6%**の回復、インバウンドは**78.8%**の回復と見込んでいるところ。
- ・ なお神戸観光局では、KPIとして、2025年インバウンド延べ宿泊者数：100万人と掲げており、2023年時点では約6割の達成となった。
- ・ 今後2025年KPIの達成に向けて、より一層の神戸への誘客施策に取り組んでいく。

→神戸市の詳細な分析(国籍別集計など)は、結果が出揃い次第レポートに掲載予定。  
 →同グラフや、神戸市のインバウンドシェア率は、15ページに改めて掲載。

### <神戸観光局KPI>

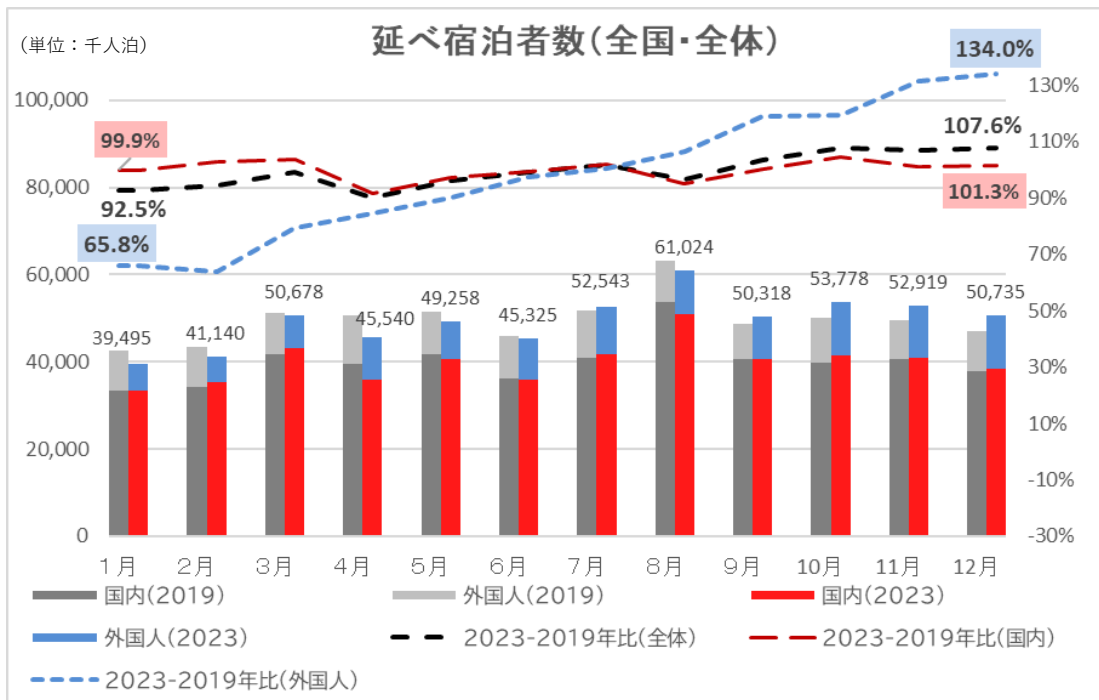
延べ宿泊者数		2023年	2024年	2025年
KPI	全体	630.0万人泊	635.0万人泊	690.0万人泊
	(インバウンド)	—	—	(100.0万人泊)
実績値	全体	628.6万人泊		
	(インバウンド)	(58.2万人泊)		

出典：【神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」2023年第2次速報値、2019年確定値

※ 神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

# 2023年 年間延べ宿泊者数 速報値 (全国)

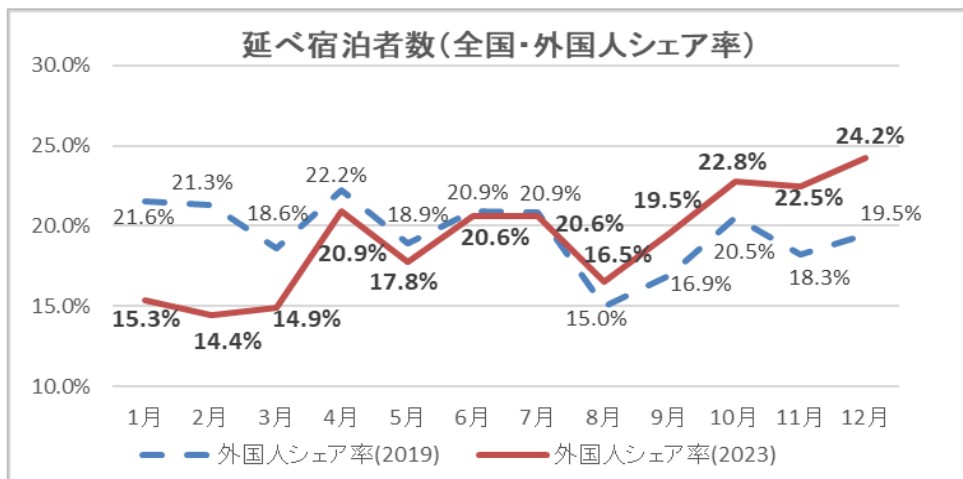
## 2023年 全国延べ宿泊者数



### コロナ前を超えた回復 インバウンドが好調

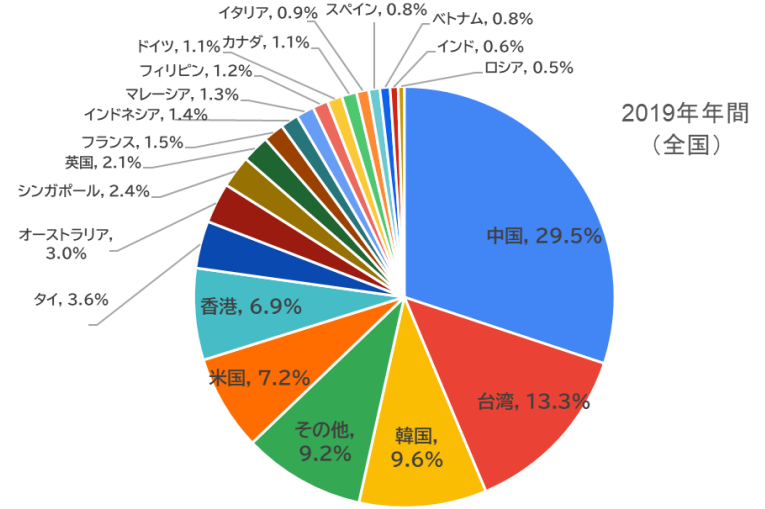
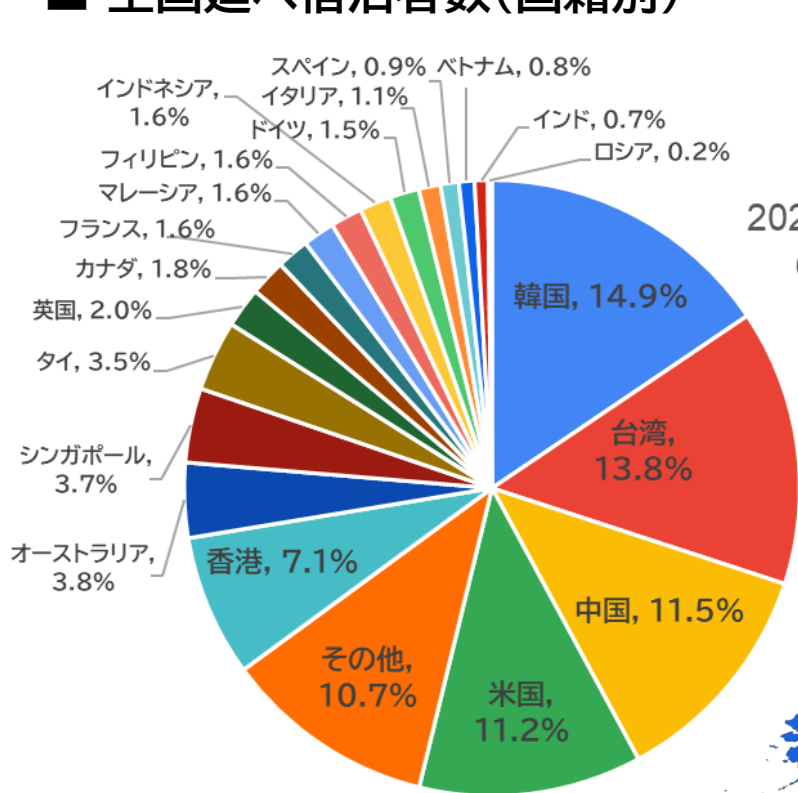
- ・2023年 全国の延べ宿泊者数は、**渡航緩和1年後の9月以降、完全にコロナ前を超えて推移した。**
- ・コロナ前比較でいうと、7月までは国内旅行者の方が戻りが良かったものの、8月以降はインバウンドの回復が著しく進み、2023年12月時点で、2019年12月の1.3倍を記録。
- ・2023年年間延べ宿泊者数は、2019年の99.5%にあたる592,752,190人泊となった。
- ・延べ宿泊者数のうち、外国人のシェアを見てみると、8月以降2019年を上回るシェアを記録したことが分かる。
- ・2023年12月は24.2%を記録。宿泊者の約4分の1が外国人となった。

→国籍別分析は次ページへ

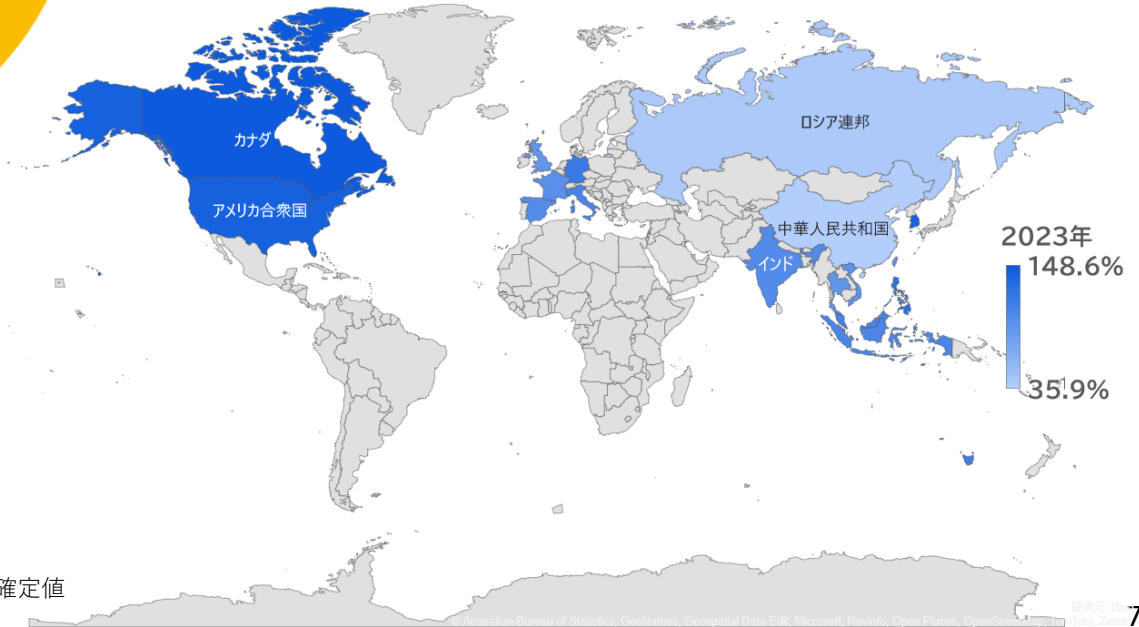


# 2023年 年間延べ宿泊者数 速報値 (全国)

## ■ 全国延べ宿泊者数(国籍別)



## ■ 2023年 2019年比

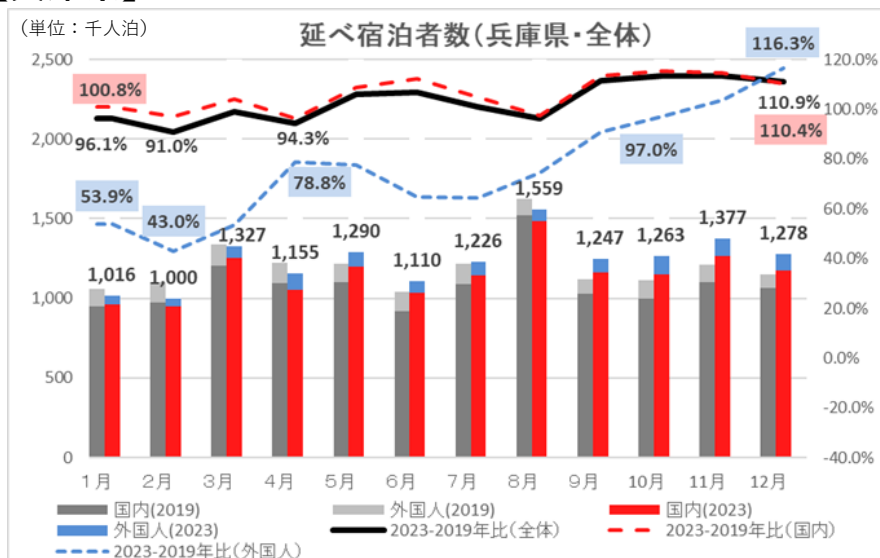


- ・ 国籍別では、外客数も大きな伸びを見せた韓国が全体の約15%を占めた。2019年は中国が全体の約30%を占めていたことを鑑みると、2023年は中国の回復の遅さに加え、旅行者の国籍の多様化が認められた。
- ・ 2019年と比較すると、年間で、韓国、アメリカ、カナダ、シンガポールが約1.4倍の延べ宿泊者数となっている。



# 2023年 年間延べ宿泊者数 速報値 (周辺エリア)

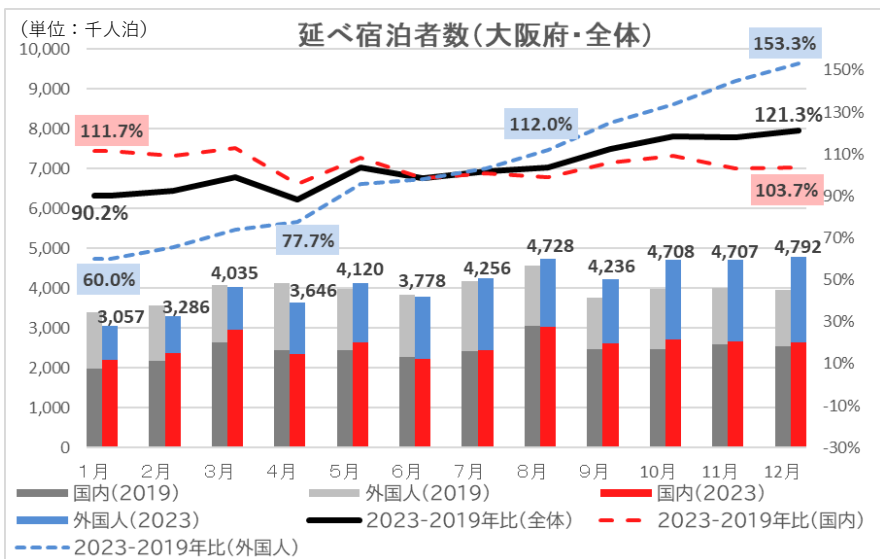
## 【兵庫県】



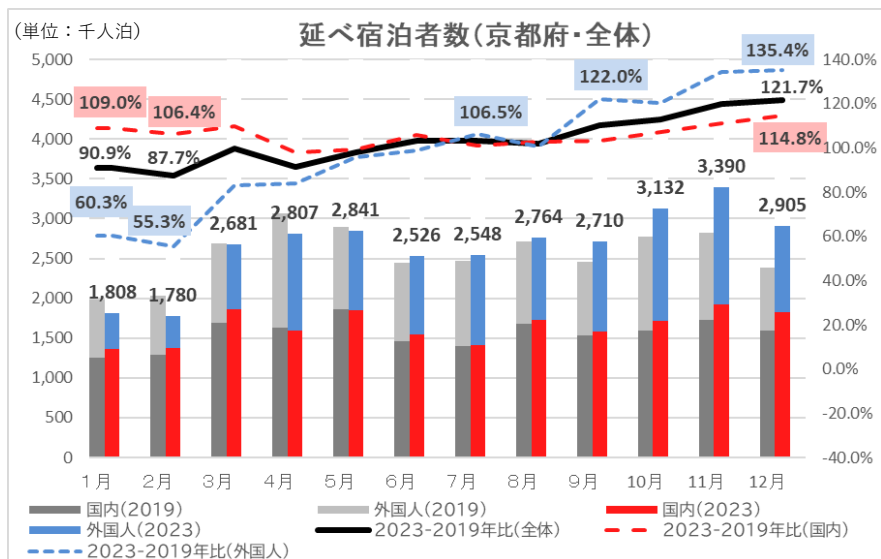
## 2023年 年間傾向・分析

- 京阪神での比較では、大阪府が順調に推移しているのが分かる。  
6月ごろからコロナ前水準を超え始め、12月のインバウンドは2019年比で153.3%にも上った。
- 京都府のインバウンドも夏～秋以降は、コロナ前を上回る回復を見せている。
- 10月以降は大阪・京都ともに約半数がインバウンドとなっている状態。
- 兵庫県は国内旅行者により宿泊者数が支えられた状態であった。  
インバウンドは10月(2019年比:97%)からコロナ前水準に回復し、その後コロナ前を超える回復を見せている。

## 【大阪府】



## 【京都府】

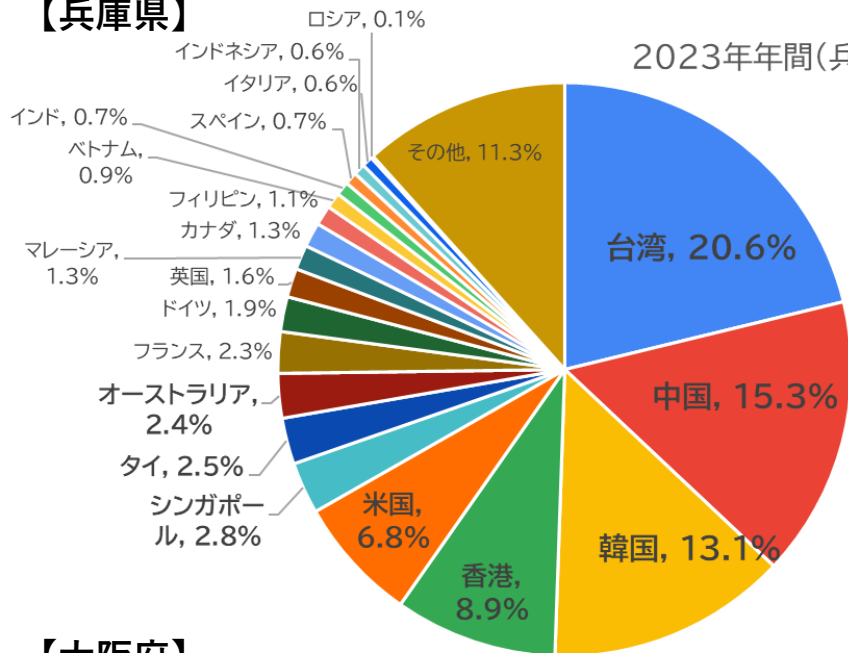


出典: 【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」  
・令和5年12月 第2次速報値

# 2023年 年間延べ宿泊者数 速報値 (周辺エリア)

## 【兵庫県】

2023年年間(兵庫県)



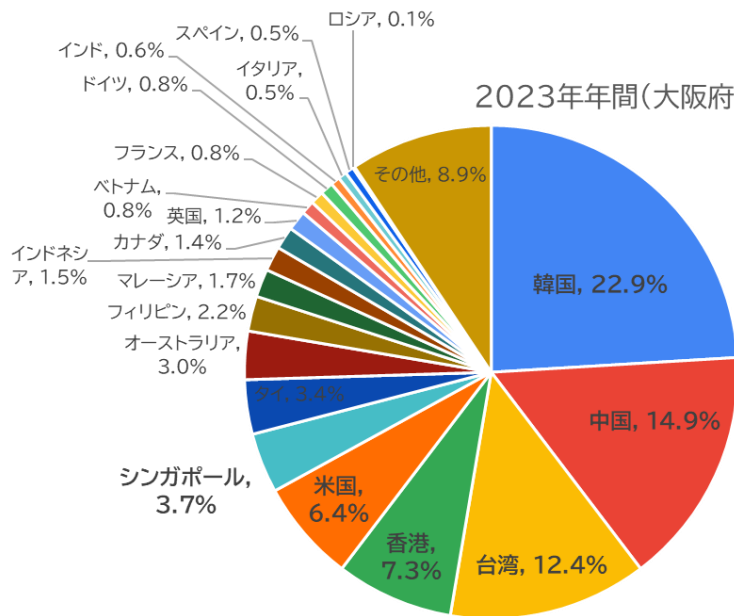
## 2023年 年間傾向・分析

- 兵庫県は、第1位:台湾、第2位:中国、第3位:韓国という結果となり、香港を含めた東アジアが全体の57.9%を占めた。
- 大阪府は、2023年の訪日外客数(全国)でも大きな伸びを見せていた韓国が1位となり、次いで、中国、台湾と続いた。
- 京都府は、米国が1位。中国、台湾、韓国と東アジアも多いが、東アジアは全体の36.4%しかなかった。代わりに欧米豪など様々な国からの宿泊者が多くなっている。

出典：【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」  
・令和5年12月 第2次速報値

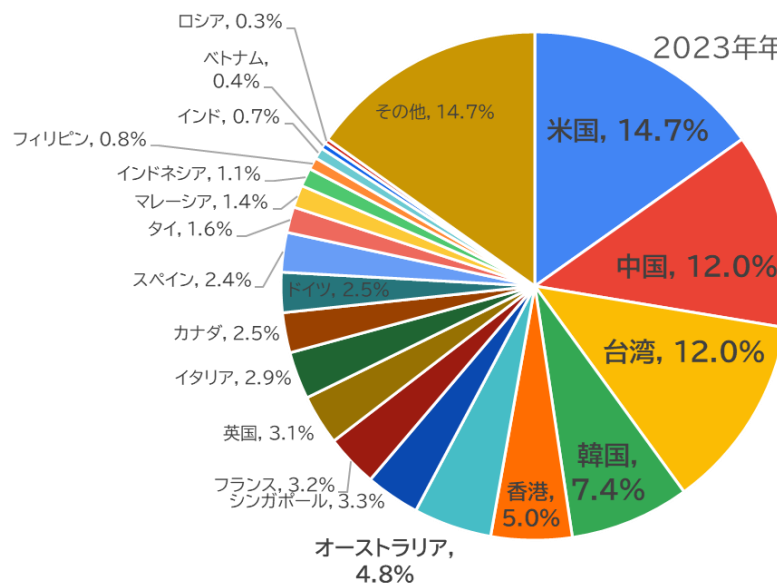
## 【大阪府】

2023年年間(大阪府)



## 【京都府】

2023年年間(京都府)





昨年の4月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

↑ いいね数 上位ランキング

## 観光スポット編

4月は  
野外のおでかけと  
体験!

2023年4月

BEST 1



2023/4/10

BEST 2



2023/4/26

BEST 3



2023/4/5

BEST 4



2023/4/7

BEST 5



2023/4/14

2023年4月は「神戸の都心でリフレッシュ」が**1位**に。昨年4月7日にリニューアルオープンした東遊園地の過ごし方を紹介した投稿。  
**2位**⇒「橋から楽しむ神戸の絶景」。改修工事が終わり、より安全、快適になったビーナスブリッジの動画投稿。  
**3位**⇒「美味しく楽しく手作り体験」。かまぼこの発祥地・神戸、六甲アイランドにある「てっちゃん工房」で、ちくわ・かまぼこの手作り体験。  
**4位**⇒「北神戸で春の自然を楽しむ」。色とりどりの花が咲く「神戸フルーツ・フラワーパーク大沢」のカフェ・グルメなどの楽しみ方を紹介。  
 (神戸発音楽フェス「KOBE SONO SONO 24」は、今年の4月6日に神戸フルーツ・フラワーパーク大沢にて開催予定。)  
**5位**⇒「六甲山でアスレチック」。日本最大級の「六甲アスレチックパークGREENIA」で、水上・陸上・空中など全174ポイントにチャレンジ!

## その他の投稿

### 神戸のドーナツ専門店の紹介投稿に高い関心が寄せられた



CHARMANT Cafe & Coffee Roastery  
王子公園店

三宮にも店舗がある自家焙煎  
コーヒー店。フルーティーな  
香りのコーヒーと一緒に、ド  
ーナツを味わえます。店内  
で一つ一つ丁寧に揚げられた  
出来立てのドーナツは、幅  
広い客層に人気です。



はらドーナツ  
神戸本店

「美味しく、安心して食べていただける」がコンセプト。保存料を使用し  
おらず、懐かしい、懐かき味わいで



THE CITY DONUTS AND COFFEE

写真映え間違いなし、  
神戸北野にあるアメリ  
カンなドーナツ専門  
店。ルクスの大胆さ  
が評判を呼び、朝から  
行列ができるほど。本  
場さながらの味と雰囲  
気を満喫してみてください

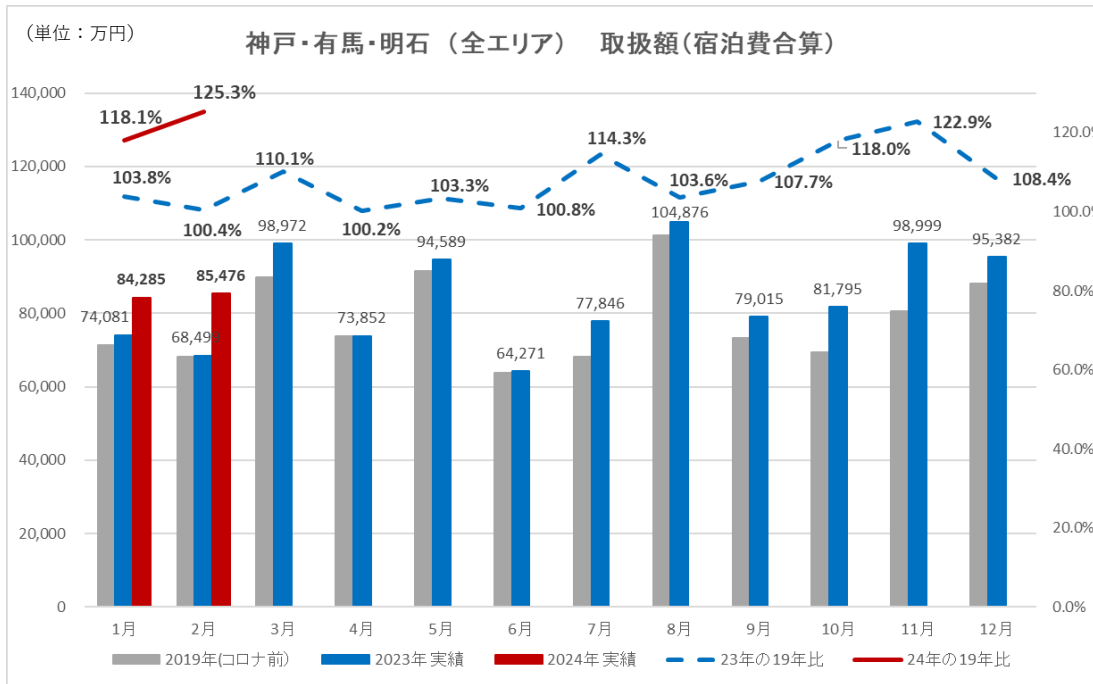


# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

## ■ 直近のOTA取扱状況について

- 2月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比 125.3%、人泊数：110.9%、単価：113.0%。
- 10月以降回復していた人泊数は、1月以降2019年比を超えて回復。特に市街地においては、ルミナリエ開催により1月の人泊数、単価が2019年を大きく上回り、2月も各施設の閑散期対策（宿泊需要の促進）や連休の効果もあり、取扱額は2019年の約1.3倍となった。
- 全体的に単価の上昇が顕著だが、本国内OTA上では、有馬の客室平均単価は、箱根を超えて温泉エリアで日本一に。
- その影響もあり、有馬にあっては、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がみられており、本国内OTA上では今後、国内旅行者の人泊数の変動を注視していく必要がある。

## 【実績】



## 2019年比

	12月	1月	2月
<b>全市</b>			
取扱額	<b>108.4%</b> (101.9%)	<b>118.1%</b> (103.8%)	<b>125.3%</b> (100.4%)
人泊数	<b>97.3%</b> (91.1%)	<b>105.3%</b> (93.0%)	<b>110.9%</b> (95.0%)
<b>市街地</b>			
取扱額	<b>109.3%</b> (101.8%)	<b>124.7%</b> (108.5%)	<b>129.0%</b> (109.5%)
人泊数	<b>96.6%</b> (90.2%)	<b>107.9%</b> (97.3%)	<b>116.8%</b> (104.4%)
<b>有馬</b>			
取扱額	<b>96.3%</b> (92.6%)	<b>105.5%</b> (97.5%)	<b>115.1%</b> (93.0%)
人泊数	<b>85.2%</b> (82.9%)	<b>92.7%</b> (85.5%)	<b>95.6%</b> (87.8%)

黒太字は

2023年・2024年-2019年比

( )内は同時点の前年(2022年・2023年)-2019年比

## 【このデータの特徴】

現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

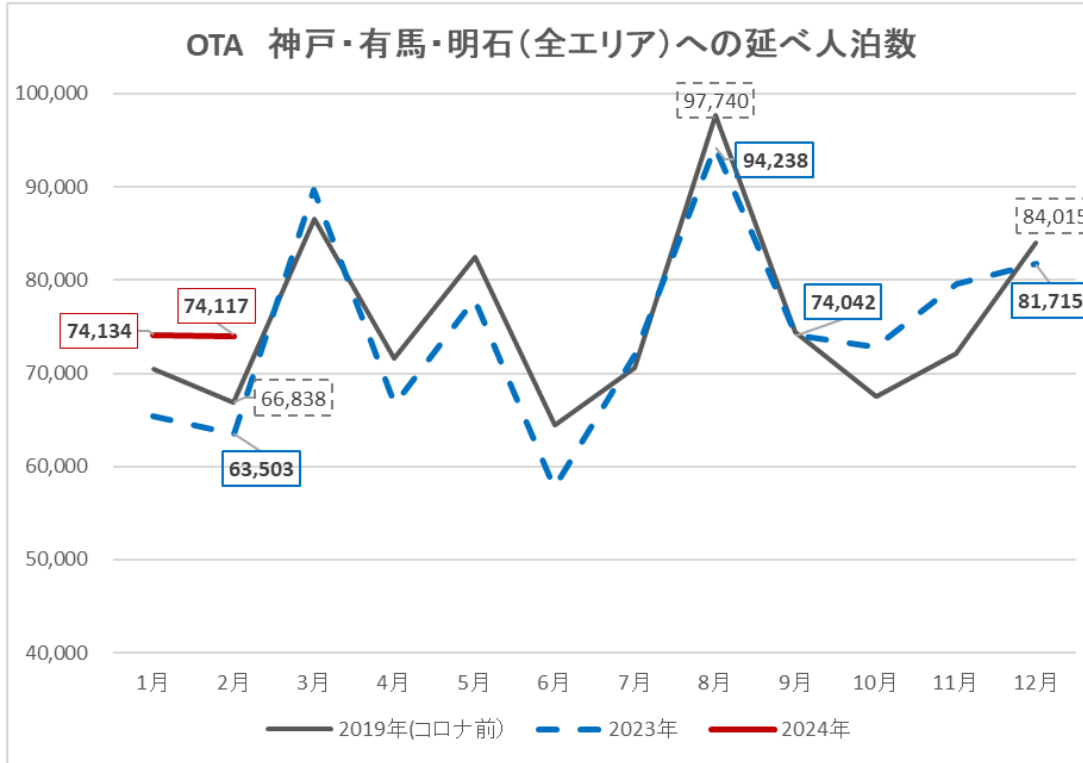
# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

## 【DATAに関する基本情報】

- ・某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・神戸市内の宿泊施設 約150施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）

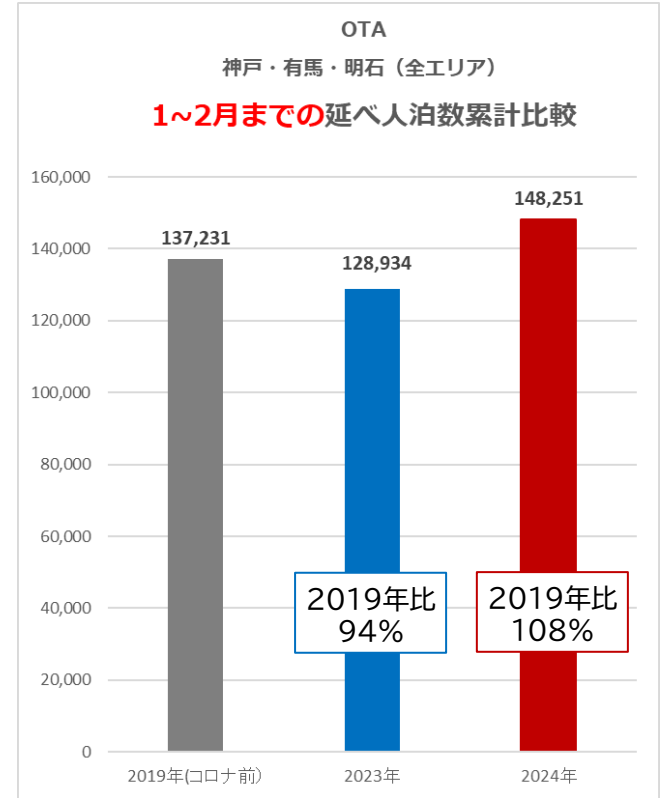
## 【グラフA】

（単位：人泊）



## 【グラフB】

（単位：人泊）



### 【考察① グラフ〔A〕 2023年・2024年 延べ人泊数の推移】

- ・2023年は、2019年度の季節変動値に近い数値の推移。10月以降2019年を上回る勢いを見せ、年間トータルで2019年比98.5%の回復であった。
- ・2024年1月・2月はすでに2019年同月を上回る人泊数を記録。

### 【考察② グラフ〔B〕 2024-2019 1~2月延べ人泊数累計の比較】

- ・2024年2月は、各施設の閑散期対策としての宿泊需要の促進や連休の効果もあり2019年同月比110.9%となる7万4117人泊を記録した。特に市街地では2019年同月比116.8%となり、その効果を感じられる数字となった。

# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング



## 【予約】

黒太字は  
2023-2019年度比（ ）内は同時点の前年度比

### 【神戸市】 2019年度比〔取扱額〕

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
<b>全市</b>						
3.17時点	<b>134.5%</b> (111.2%)	<b>121.0%</b> (124.9%)	<b>89.5%</b> (120.3%)	<b>124.5%</b> (144.6%)	<b>169.2%</b> (152.1%)	<b>102.8%</b> (128.8%)
2.18時点	<b>141.0%</b> (120.0%)	<b>117.3%</b> (142.2%)	<b>87.4%</b> (135.1%)	<b>112.5%</b> (146.6%)	<b>153.3%</b> (156.9%)	—
<b>市街地</b>						
3.17時点	<b>147.9%</b> (112.4%)	<b>133.9%</b> (129.7%)	<b>92.9%</b> (125.1%)	<b>114.0%</b> (138.6%)	<b>143.6%</b> (150.0%)	<b>78.7%</b> (128.1%)
2.18時点	<b>143.7%</b> (123.8%)	<b>126.3%</b> (139.3%)	<b>97.5%</b> (144.4%)	<b>101.9%</b> (141.6%)	<b>137.3%</b> (165.9%)	—
<b>有馬</b>						
3.17時点	<b>111.9%</b> (107.1%)	<b>111.0%</b> (123.2%)	<b>85.1%</b> (114.7%)	<b>151.8%</b> (187.0%)	<b>147.3%</b> (101.8%)	<b>118.9%</b> (144.4%)
2.18時点	<b>120.4%</b> (108.2%)	<b>111.6%</b> (146.5%)	<b>77.3%</b> (115.6%)	<b>141.6%</b> (188.2%)	<b>130.5%</b> (111.1%)	—

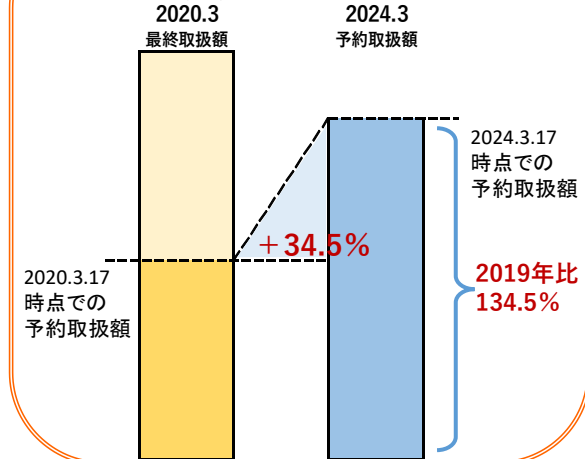


国内OTA 予約データは、2019年度と比較した**予約の勢いを確認するデータ**です。（下図参照）  
2019年度同月実績との比較ではありません。  
※最終的な2023年各月実績の2019年比は前2ページに掲載

### 【参考：他エリア比較】 2019年度比〔取扱額〕

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
<b>淡路島</b>						
3.17時点	<b>133.6%</b> (107.0%)	<b>142.4%</b> (115.1%)	<b>103.7%</b> (92.9%)	<b>207.0%</b> (126.4%)	<b>199.2%</b> (118.2%)	<b>241.9%</b> (115.4%)
2.18時点	<b>168.2%</b> (107.3%)	<b>143.8%</b> (115.0%)	<b>89.8%</b> (94.7%)	<b>203.8%</b> (126.9%)	<b>228.2%</b> (116.4%)	—
<b>城崎</b>						
3.17時点	<b>104.6%</b> (123.7%)	<b>110.8%</b> (127.1%)	<b>73.7%</b> (116.5%)	<b>132.4%</b> (136.4%)	<b>186.8%</b> (128.4%)	<b>123.4%</b> (152.4%)
2.18時点	<b>116.1%</b> (114.4%)	<b>104.9%</b> (117.9%)	<b>73.8%</b> (113.7%)	<b>100.6%</b> (112.7%)	<b>199.3%</b> (131.3%)	—
<b>大阪市エリア</b>						
3.17時点	<b>163.8%</b> (105.1%)	<b>166.1%</b> (135.3%)	<b>138.4%</b> (131.9%)	<b>184.0%</b> (123.6%)	<b>95.2%</b> (133.8%)	<b>122.3%</b> (154.0%)
2.18時点	<b>188.5%</b> (104.9%)	<b>167.9%</b> (144.9%)	<b>122.2%</b> (145.4%)	<b>194.1%</b> (138.5%)	<b>164.5%</b> (147.4%)	—
<b>京都市エリア</b>						
3.17時点	<b>143.6%</b> (85.4%)	<b>137.4%</b> (127.1%)	<b>89.8%</b> (112.9%)	<b>173.4%</b> (188.4%)	<b>154.0%</b> (163.5%)	<b>175.0%</b> (166.6%)
2.18時点	<b>156.6%</b> (103.2%)	<b>137.9%</b> (138.3%)	<b>86.3%</b> (123.1%)	<b>171.6%</b> (237.1%)	<b>150.5%</b> (177.3%)	—
<b>東京23区エリア</b>						
3.17時点	<b>143.6%</b> (115.3%)	<b>164.7%</b> (136.2%)	<b>128.7%</b> (131.4%)	<b>189.5%</b> (176.2%)	<b>155.1%</b> (183.7%)	<b>184.5%</b> (186.9%)
2.18時点	<b>177.0%</b> (136.4%)	<b>173.8%</b> (152.5%)	<b>125.0%</b> (154.9%)	<b>184.4%</b> (193.0%)	<b>165.3%</b> (214.7%)	—

### 国内OTA 予約データの見方 (例) 全市 2024年3月



■神戸市全域における先予約は、3~4月が2019年度を超えるスピードで予約が入っており堅調。

新年度の5月については予約スピードがどのエリアでも鈍化しているように感じられるが、これは比較対象である2019年が、5月に10連休があった影響で例年に比べてリードタイムが長かったことに起因しており、例年ベースで見ると特に問題はない。

■インバウンドの予約数が増加する中で、国内旅行者向けの客室提供への影響も出てきており、その影響で国内旅行者の早期予約を後押ししているとも考えられる。他の地域でも早期予約の傾向が強まっていることに着目し、コロナ前よりも宿泊施設がリードタイムを伸ばす取り組み（ゴールド会員限定のプラン販売、〇〇日前までの予約でお得など）を実施している。

■また、インバウンドが増加することで客単価も上昇傾向にあるため、少しでも安くといった旅行心理の中で、早割プランを設定している施設も多く、早割プランの予約も多い状況。

■有馬はインバウンドの増加により、国内OTA上は人泊数が減少傾向と予想される。単価が上昇していることから取扱額は2019年と同程度。（城崎も同様の傾向。）

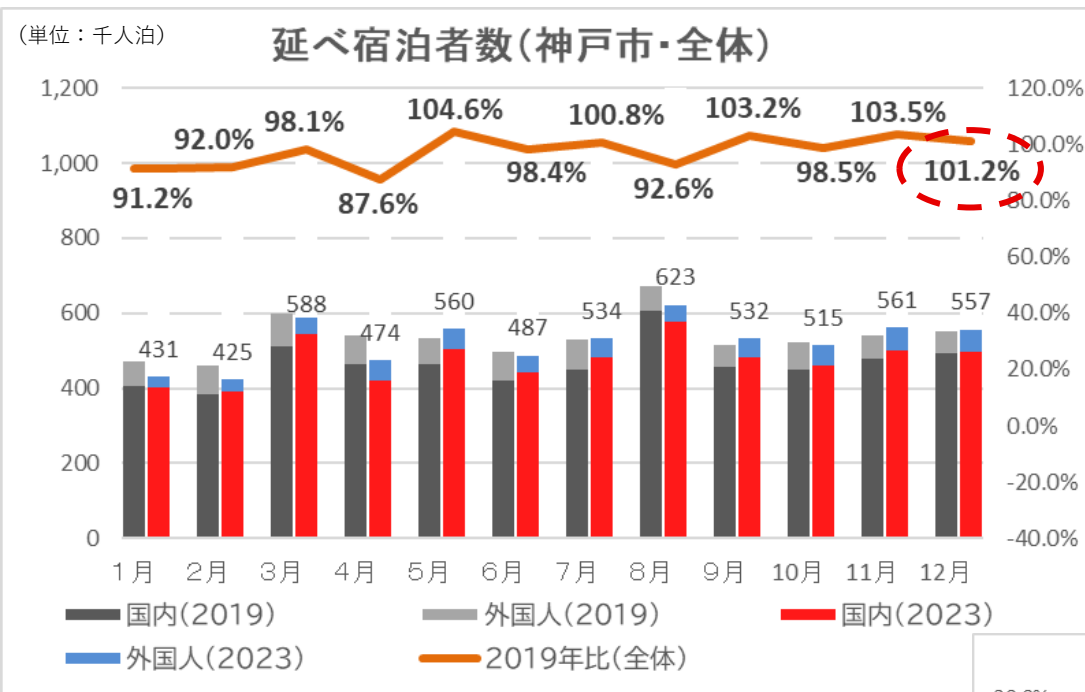
## 定点観測

---

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【神戸市・全体】 ※R5.12まで

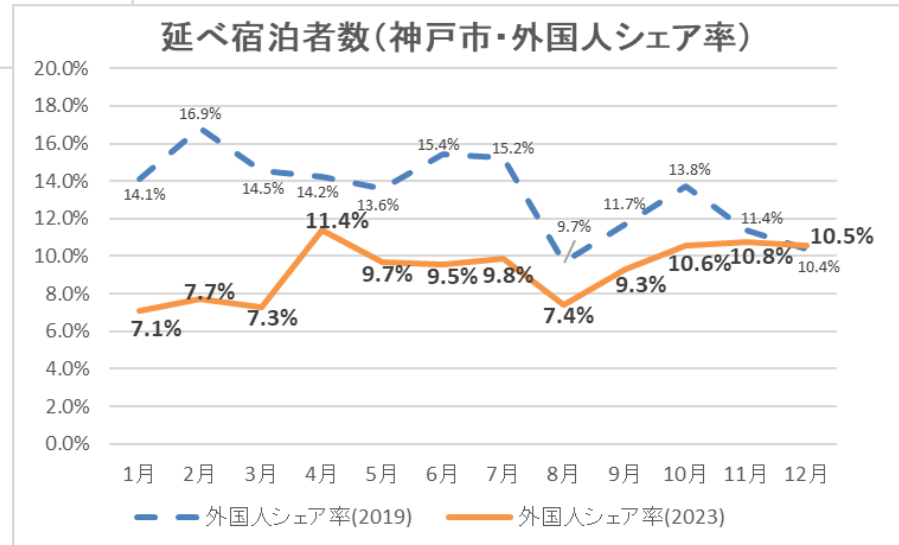
## 【神戸市・全体】



## 12月の傾向・分析

- 神戸市全体延べ宿泊者数はコロナ前と同水準まで回復。
- コロナ前から、宿泊者数の約8～9割が国内旅行者であり、コロナが明けた2023年もその傾向に大きくは変動なし。
- インバウンドは10月以降大きく回復し、11月に97.8%、12月に102.6%まで回復した。(次ページ参照)
- 宿泊者数のうち、インバウンドのシェアに着目すると、コロナ前は約12%を占めていたインバウンドは、2023年では約10%前後で推移。12月時点ではシェアも2019年レベルに回復。

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較



出典：【神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」  
・令和5年12月 第2次速報値

※ 神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

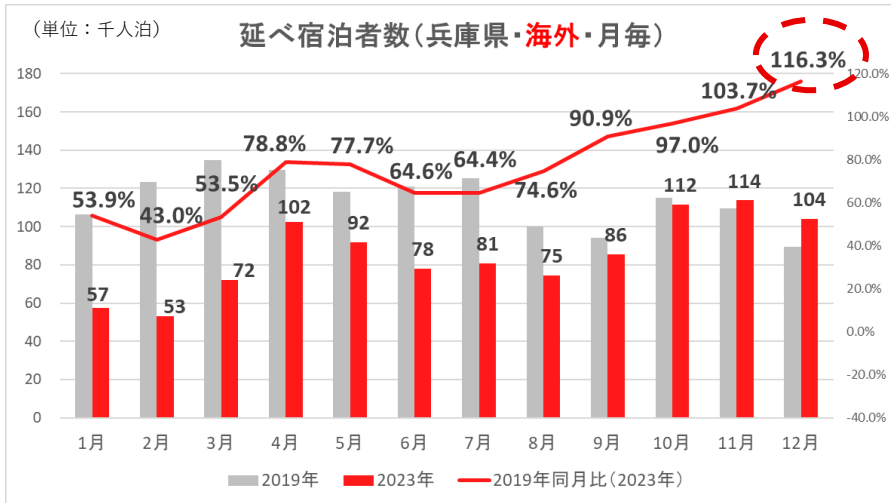
(参考)

兵庫県	コロナ前比	110.9% (12月)
全国	コロナ前比	107.6% (12月)

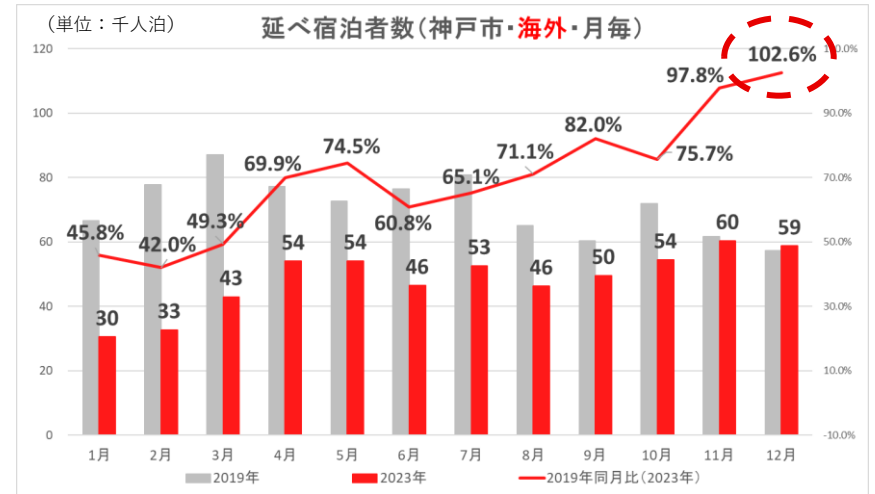


# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析①】

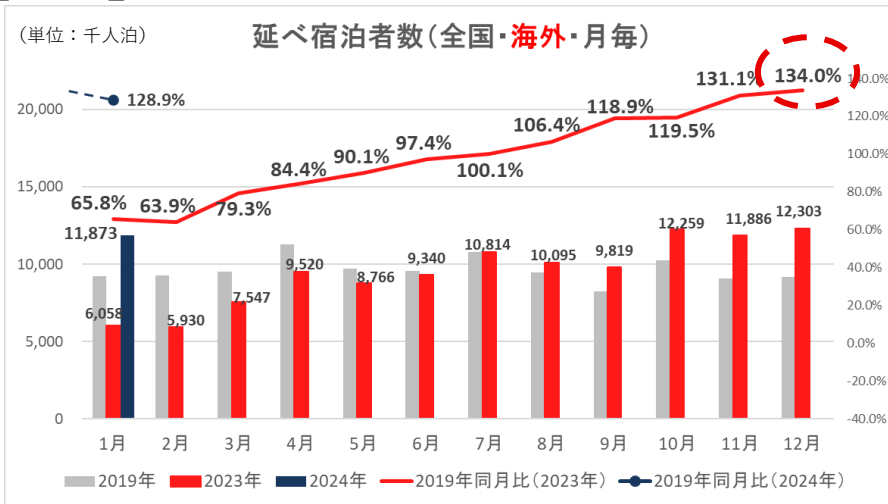
## 【兵庫県】



## 【神戸市】



## 【全国】



## 12月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比 <b>102.6%</b> (12月)
兵庫県	コロナ前比 <b>116.3%</b> (12月)
全国	<b>コロナ前を超えて回復 (12月：134.0%)</b>

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較



- 全国の国籍別では、1位 韓国、2位 台湾、3位 中国。  
JNTO 訪日外客数の伸びも著しい韓国は、2019年比約4倍の伸び。
- 神戸観光局の独自試算では、**神戸市の回復率は12月時点でコロナ禍以降初めて2019年比を超えた。**

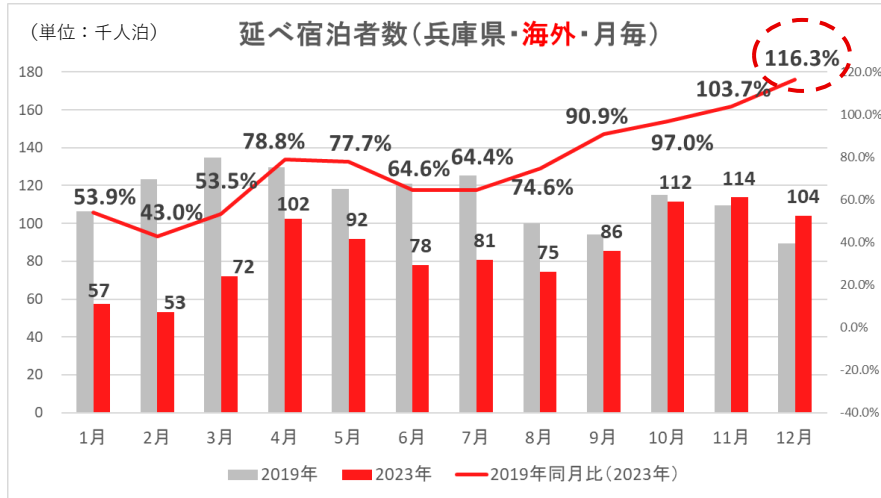
出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」  
・令和5年12月 第2次速報値  
・令和6年1月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

👉 [【全国】外国人延べ宿泊者数 国籍別は39ページへ](#)

# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析②（周辺比較）】

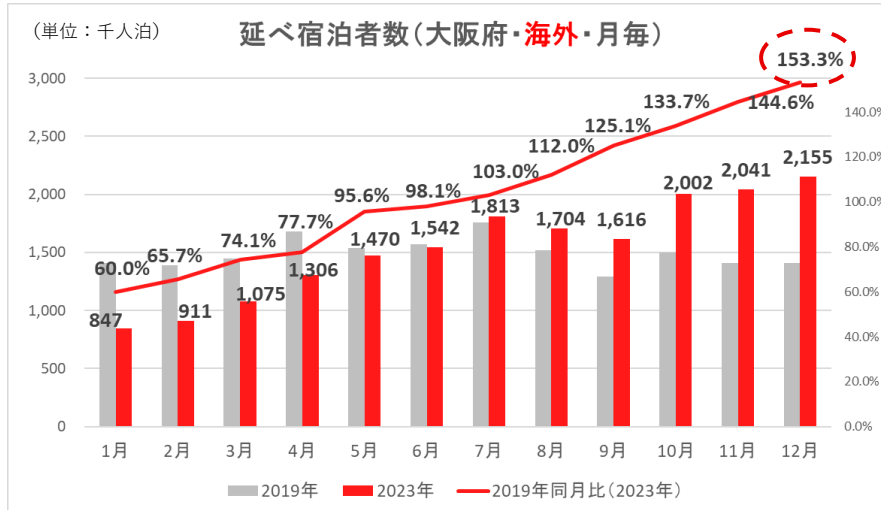
## 【兵庫県】



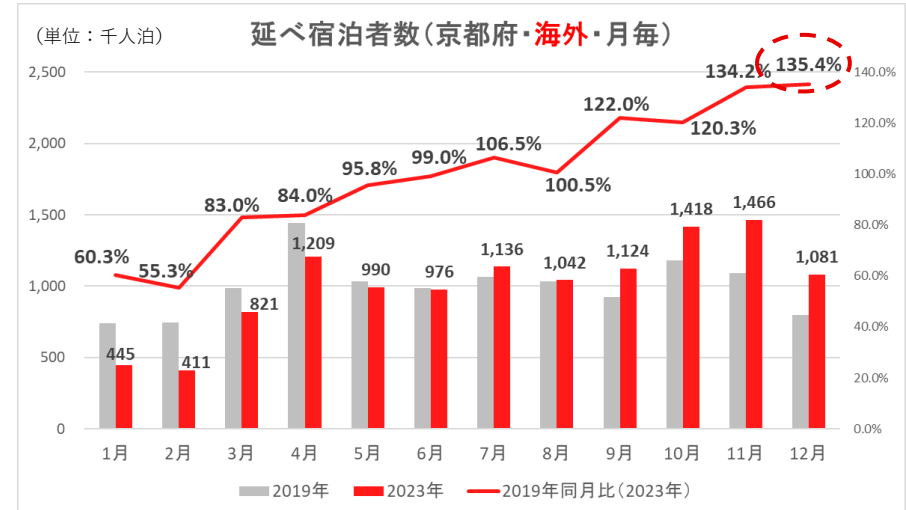
## 12月の傾向・分析

- 京阪神での比較では、大阪府が順調に推移しているのが分かる。  
12月のインバウンドは2019年比で**153.3%**にも上った。
- 京都府のインバウンドも秋以降は、コロナ前を上回る回復を見せている。
- 京阪神の中では兵庫県は回復が遅く感じるものの、9月以降はインバウンドも大きく回復し、コロナ前を超える**116.3%**に。

## 【大阪府】



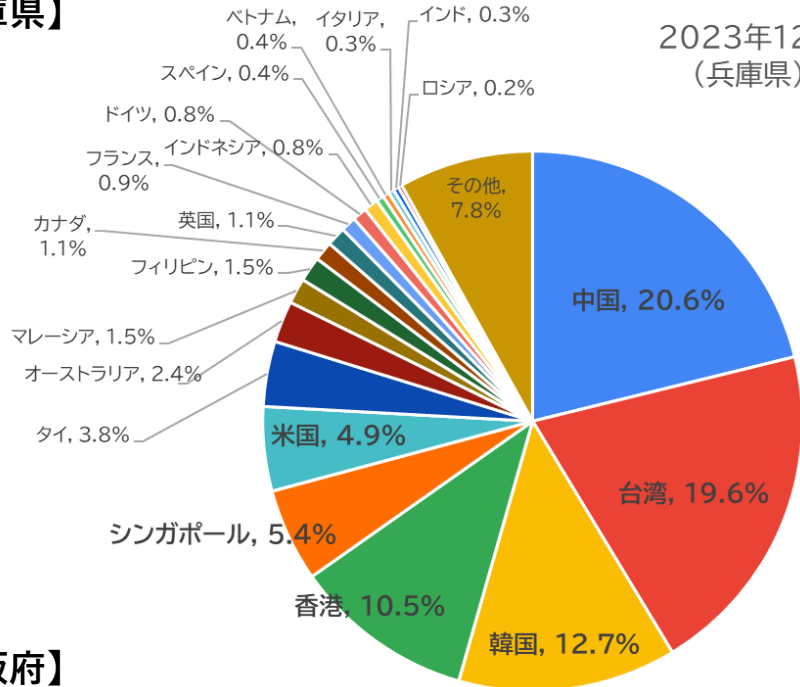
## 【京都府】



出典：【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」  
 ・令和5年12月 第2次速報値  
 ・令和6年1月 第1次速報値

# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【周辺エリアとの比較】国籍分析

## 【兵庫県】

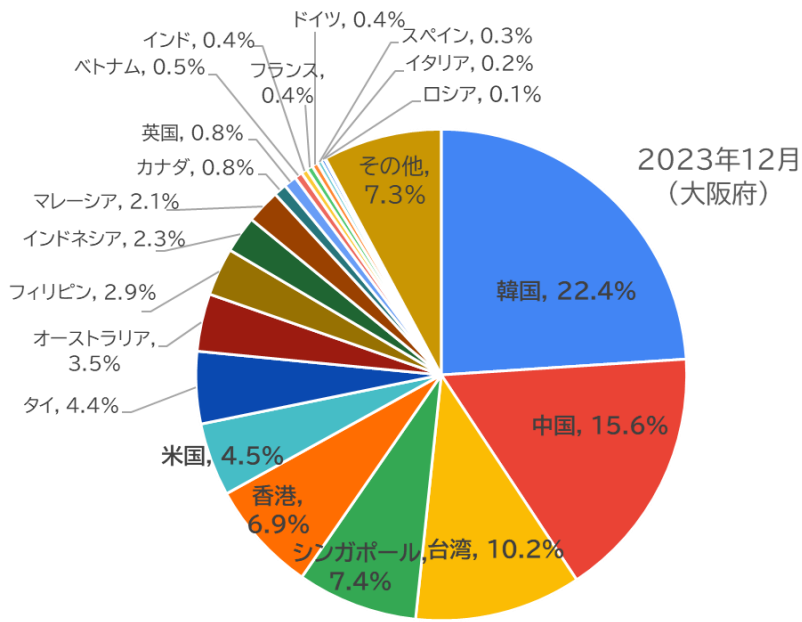


## 12月の傾向・分析

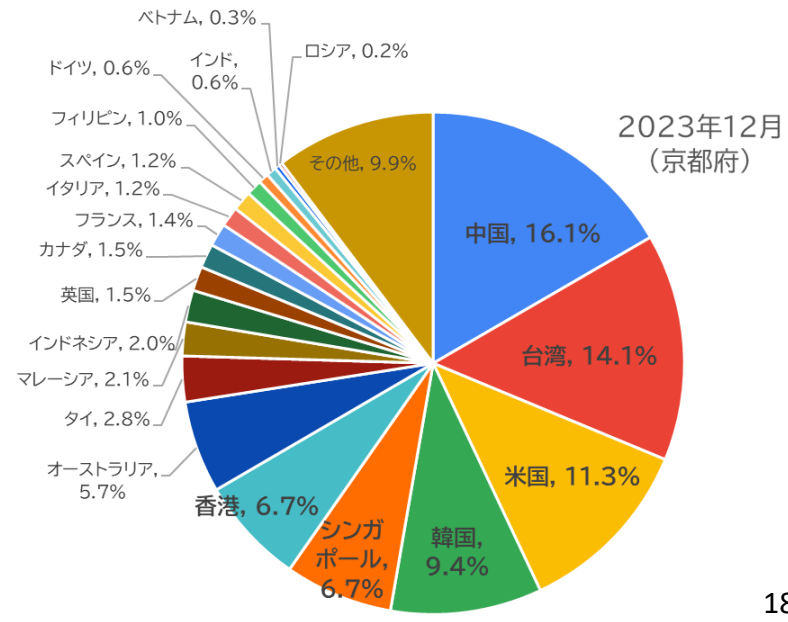
- インバウンドの国籍別では、兵庫県においては、第1位:中国、第2位:台湾、第3位:韓国、第4位:香港となり、東アジアだけで63%を占めた。
- 京都府は、第1位、第2位は兵庫県と同様、中国・台湾となったが、第3位に米国がランクインするなど、欧米豪の比率が高い(約24%が欧米豪)
- 大阪府は韓国が好調であり、3府県で唯一韓国が第1位となった。また、他3府県に比べて東南アジアが約19%を占めるなど、シェアが若干高い。(兵庫・京都は全体の約14~15%)

出典：【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」  
・令和5年12月 第2次速報値

## 【大阪府】

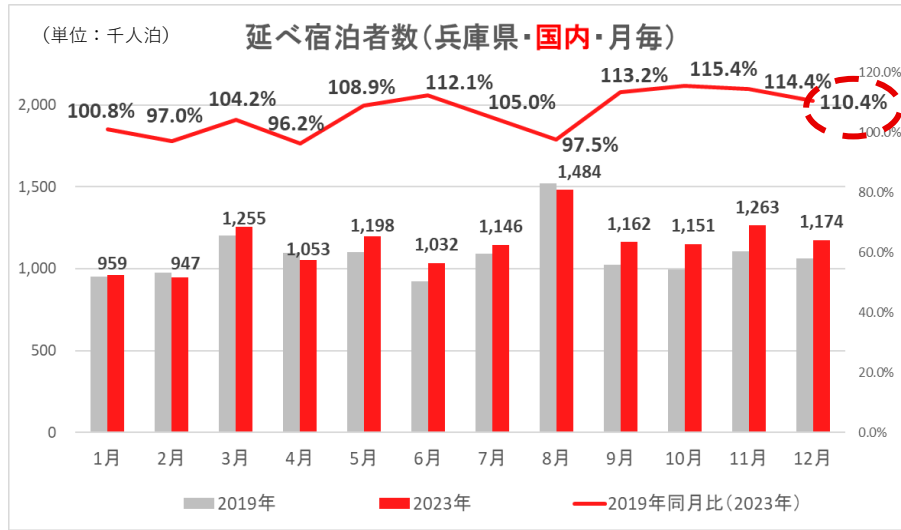


## 【京都府】

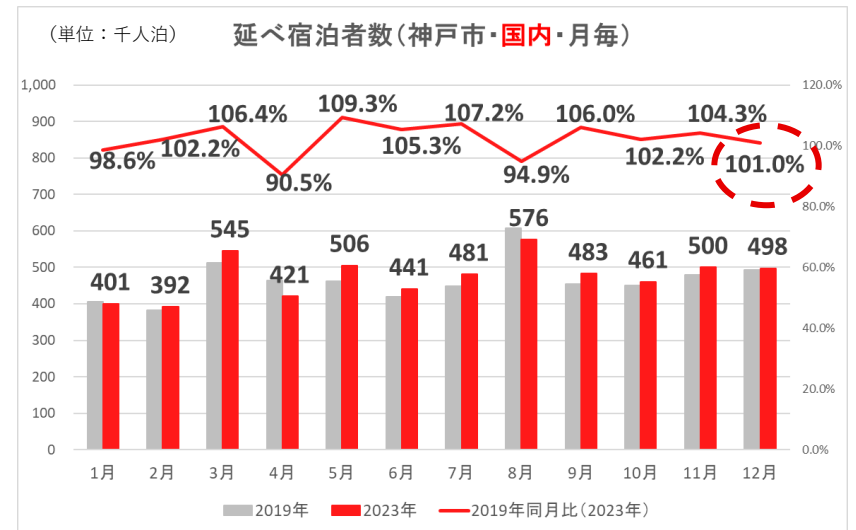


# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.12まで

## 【兵庫県】

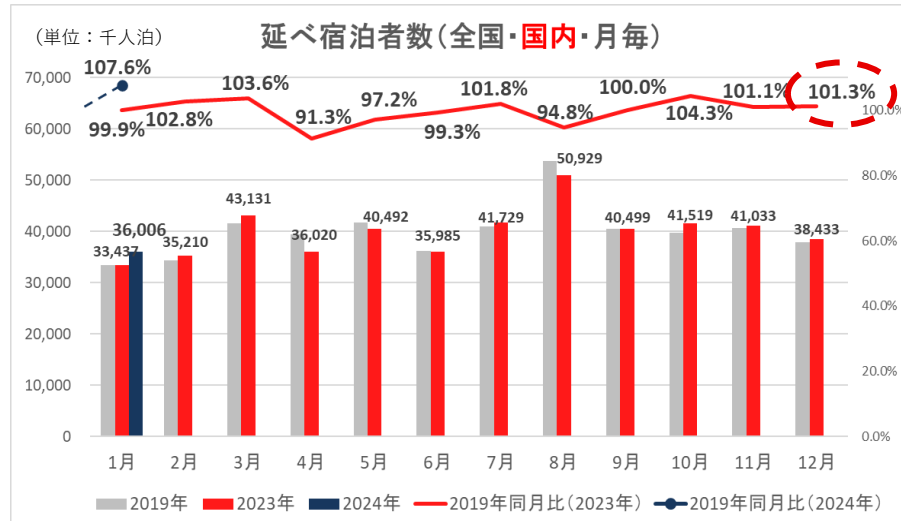


## 【神戸市】



## 【全国】

※R6.1推計値まで



## 12月の傾向・分析

神戸市  
・兵庫県  
・全国

コロナ前比と同水準あるいは  
コロナ前を超えて回復

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

■ 神戸市の回復率に比べて兵庫県の回復率が高いのは、  
県内の他市の回復が好調であるためと推察される。

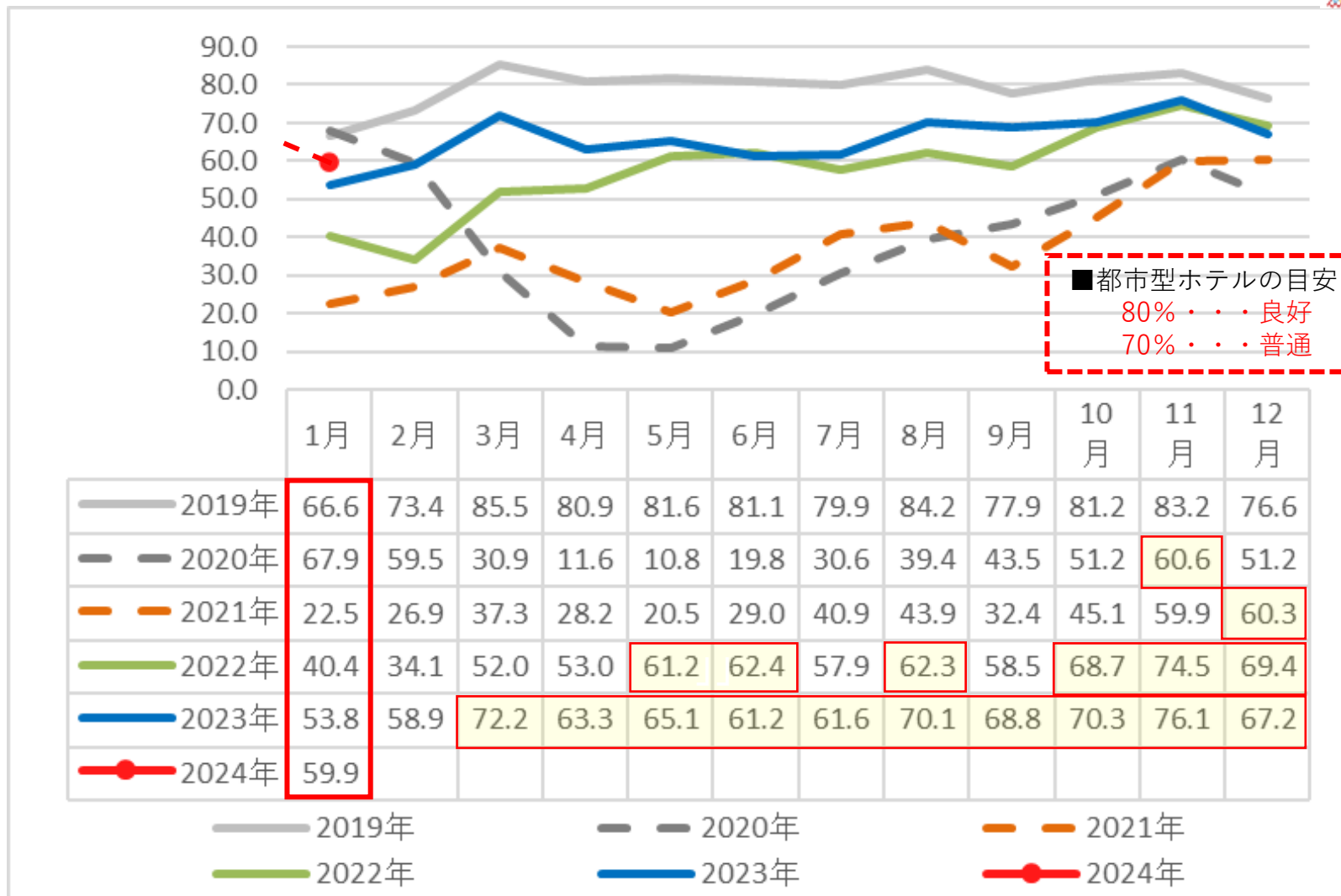
出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和5年12月 第2次速報値

・令和6年1月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

# 市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表  
1月 国内ホテル稼働率

全国：65.9%  
(前月比 △8.3pt)

1月の国内ホテルの平均稼働率は、前月比で8.3ポイント低い65.9%だった。1月は国内の旅行が減る閑散期にあたる。2024年はアジアの訪日客が増える春節（旧正月）が2月のため、外需も落ち着いていた。前年同月比では1.7ポイント高い。新型コロナウイルス禍の影響が残っていた前年に比べると需要が底上げされている。客室単価は前月比で13.1%安い1万7922円だった。

# インバウンド情報

---

## (訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

# 2024年月別訪日外客数(対2019年比)

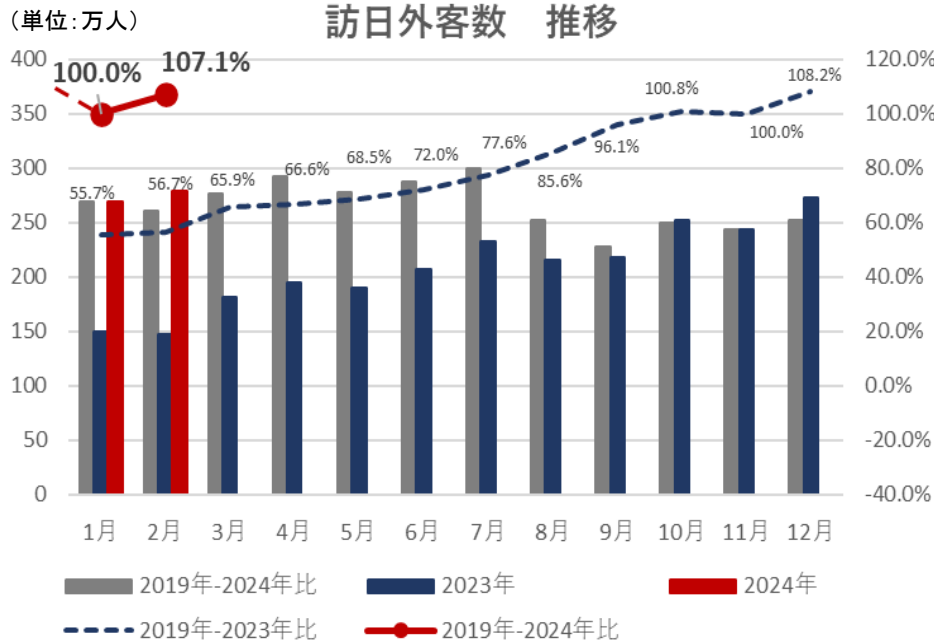
訪日外客数(全国)			
	2019	2023-2024	2019比
12月	2,526,387名	2,734,115名	108.2%
1月	2,689,339名	2,688,100名	100.0%
2月	2,604,322名	2,788,000名	107.1%

- ・ **2月は、中国の春節の影響もあり、2019年同月比を大きく上回る278万人を記録した。** 2019年同月比107.1%、前月比でも103.7%と大きく結果を伸ばしている。
- ・ 19市場で2月として過去最高を記録したほか、台湾、ベトナムでは単月過去最高を更新。その他韓国、台湾、フィリピン、米国などで訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2024	伸率 Change %
1	2,689,339 (2,345,029)	2,688,100 *	0.0 *
Jan.			
2	2,604,322 (2,341,479)	2,788,000 *	7.1 *
Feb.			
3	2,760,136 (2,411,650)		
Mar.			
4	2,926,685 (2,640,569)		
Apr.			
5	2,773,091 (2,455,865)		
May			
6	2,880,041 (2,614,533)		
Jun.			
7	2,991,189 (2,713,329)		
Jul.			
8	2,520,134 (2,206,746)		
Aug.			
9	2,272,883 (1,913,105)		
Sep.			
10	2,496,568 (2,177,382)		
Oct.			
11	2,441,274 (2,145,425)		
Nov.			
12	2,526,387 (2,292,029)		
Dec.			
1~2	5,293,661 (4,686,508)	5,476,100 *	3.4 *
Jan.-Feb.			
1~12	31,882,049 (28,257,141)		
Jan.-Dec.			

訪日外客数のうち、\*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

( ) 内は総数のうちの観光客数



2022.6.10~ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めていたワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00209.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html)

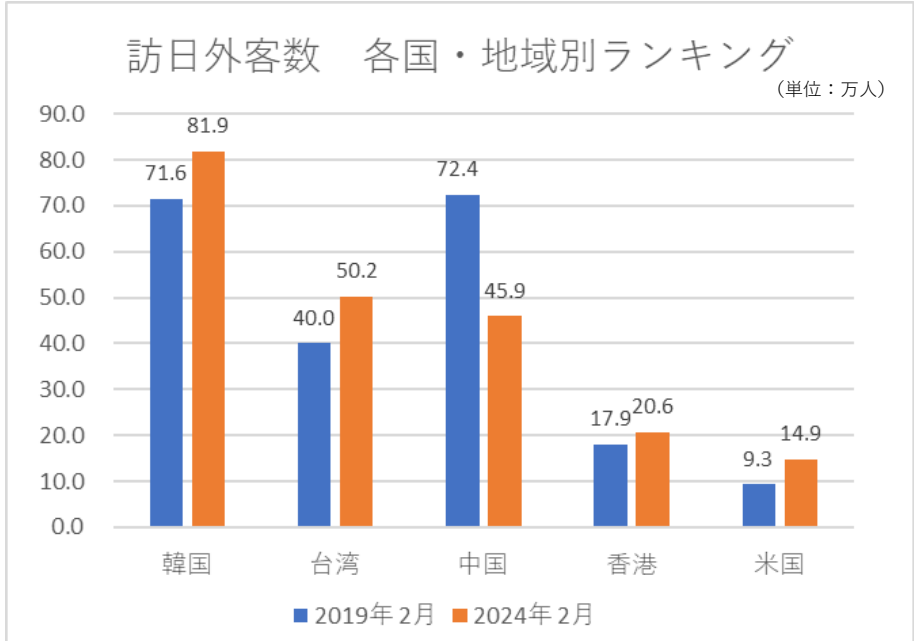
出典: 日本政府観光局(JNTO)3/19プレスリリース「訪日外客数(2024年2月推計値)」

# 2024年2月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2024 総数			
	2019年 2月	2024年 2月	(順位)	2019比 (%)	2019年 1月～2月	2024年 1月～2月	(順位)	2019比 (%)
韓国	715,804人	818,500人	(1位)	114.3%	1,495,187人	1,675,500人	(1位)	112.1%
台湾	399,829人	502,200人	(2位)	125.6%	787,327人	994,500人	(2位)	126.3%
中国	723,617人	459,400人	(3位)	63.5%	1,478,038人	875,300人	(3位)	59.2%
香港	179,324人	205,900人	(4位)	114.8%	333,616人	392,200人	(4位)	117.6%
米国	92,669人	148,700人	(5位)	160.5%	195,860人	280,500人	(5位)	143.2%



引き続き韓国、台湾、米国の伸びが押し上げ要因。台湾は、単月過去最高を記録。



## 2月動向

- 2月の訪日外客数は、2,788,000人となり、前年同月比では89.0%増、2019年同月比では7.1%増となった。今年は、うるう年の影響で日数が1日多かったことに加え、昨年2023年は1月であった旧正月(春節)が2月中旬となったこともあり、コロナ禍以降で最多を更新し、また、2月として過去最高となった。
- 東アジアでは韓国や台湾、東南アジアではフィリピン、欧米豪・中東地域においては米国などで訪日外客数が増加したことが、今月の押し上げ要因となった。
- 23市場のうち19市場(韓国、台湾、香港、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、中東地域) において2月として過去最高を記録したほか、台湾、ベトナムでは単月過去最高を更新した。
- 昨年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

出典: 日本政府観光局(JNTO)3/19プレスリリース「訪日外客数(2024年2月推計値)」

👉訪日外客数の各国・地域別の内訳(詳細)は[37ページ](#)へ



交通機関に関する情報  
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

---

関西国際	2023年 11月	12月	2024年 1月
総旅客数(人)	2,245,578	2,340,174	2,216,821
2019年比	▲12%	▲8%	▲15%
国際線 発着数(回)	10,422	11,168	11,128
2019年比	▲19%	▲19%	▲19%
国際線 旅客数(人)	1,685,084	1,804,344	1,714,822
2019年比	▲1%	▲10%	▲17%
うち外国人 旅客数(人)	1,312,630	1,459,803	1,385,691
2019年比	▲1%	+10%	▲3%
国内線 旅客数(人)	560,494	535,830	501,999
2019年比	▲1%	▲3%	▲9%

神戸	2023年 11月	12月	2024年 1月
国内線 発着数(回)	3,084	2,887	2,743
2019年比	+9%	▲6%	▲2%
国内線 旅客数(人)	289,069	270,485	260,577
2019年比	▲3%	▲5%	▲7%

### < 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・1月の関西国際空港における航空旅客数は、前月比94.7%。コロナ禍前(2019年比)85%。
- ・外国人旅客数の1月は前月比94.9%。2019年のコロナ禍前の同月比97%となった。
- ・神戸空港発着回数は、前月比95%、2019年比98%。旅客数は、前月比93.5%。2019年比93%。10月をピークに若干の減少傾向となっている。羽田事故などの影響をうけるも、旅客数は前年比微増。低迷の続くFDA神戸-高知線は8月に運休。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は [42ページ](#)、  
2024年1月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は [44ページ](#)へ



出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

# 関空国際線入国状況 ～KTBターゲット12か国～ 3月15日時点

(人数)	2020年	2023年	10月	11月	12月	前月比	2020年
	1月	9月					1月比
英国	3,526	3,829	4,715	4,068	3,547	87%	101%
フランス	2,271	3,567	5,495	4,498	2,615	58%	115%
豪州	11,956	10,448	9,018	8,958	14,592	163%	122%
米国	12,756	14,876	20,187	19,232	19,232	100%	151%
中国	<b>328,191</b>	<b>127,624</b>	<b>96,536</b>	<b>102,665</b>	<b>114,873</b>	112%	35%
台湾	<b>102,205</b>	<b>94,542</b>	<b>109,055</b>	<b>104,096</b>	<b>96,485</b>	93%	94%
香港	51,421	41,114	49,361	59,819	70,222	117%	137%
韓国	<b>85,174</b>	<b>190,900</b>	<b>210,581</b>	<b>210,268</b>	<b>241,792</b>	115%	284%
タイ	22,458	16,044	36,049	33,397	35,118	105%	156%
マレーシア	11,684	9,465	15,581	17,687	10,681	60%	91%
インドネシア	8,866	7,105	8,295	8,230	14,850	180%	167%
シンガポール	6,237	10,300	13,296	25,296	30,839	122%	494%
<b>合計</b>	<b>646,745</b>	<b>529,814</b>	<b>578,169</b>	<b>598,214</b>	<b>654,846</b>	<b>109%</b>	<b>101%</b>

ターゲット12か国合計、前月比109%

ターゲット12か国合計、2020年1月比101%

## ➤ ランキング及び前月比

- ・1位 韓国：241,792人 / 115% (前月比)
- ・2位 中国：114,873人 / 112% (前月比)
- ・3位 台湾：96,485人 / 93% (前月比)

➤ 中国が台湾を上回り11万人を超える。2020年1月（コロナ禍前）の35%。

➤ インドネシア・シンガポールが増加傾向、ターゲット12か国の合計で2020年1月を超える（101%）

前月比 102%

※2024.2月速報値

関空入国者数：715,170人 (1月：700,402人 12月：721,677人)

# 【クルーズ船寄港状況】 ポートターミナル・中突堤

		2月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	5	8	4	63%	125%	125	119	150	105%	83%
	船客数	638	1,841	597	35%	107%	94,775	26,683	180,727	355%	52%

ポートターミナル		2月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	3	8	4	38%	75%	88	111	94	79%	94%
	船客数	0	1,841	597	0%	0%	75,438	22,875	142,298	330%	53%
日中国際フェリー (新鑿真・蘇州號)	隻数	3	4	2	75%	150%	45	52	28	87%	161%
	船客数	0	0	0	-	-	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	0	4	1	0%	0%	7	53	11	13%	64%
	船客数	0	1,841	245	0%	0%	6,587	18,387	7,385	36%	89%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	0	0	-	-	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	0	0	1	-	0%	36	4	52	900%	69%
	船客数	0	0	352	-	0%	68,851	4,468	131,125	1541%	53%

中突堤ターミナル		2月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	2	0	0	-	-	37	8	56	463%	66%
	船客数	638	0	0	-	-	19,337	3,808	38,429	508%	50%
日本船 (内航)	隻数	2	0	0	-	-	22	3	42	733%	52%
	船客数	638	0	0	-	-	11,774	773	29,813	1523%	39%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	3	0	5	-	60%
	船客数	0	0	0	-	-	1,869	0	2,286	-	82%
外国籍船	隻数	0	0	0	-	-	12	5	9	240%	133%
	船客数	0	0	0	-	-	5,694	3,035	6,330	188%	90%

## ■全体

2月はR4年度比で隻数▲2、船客も▲1,203。2月のクルーズ客船の入港は「にっぽん丸」のみであった。

## ■ポートターミナル

2月の入港実績は3。内訳は定期船の日中国際フェリーが3。クルーズ客船の入港実績は無し。

## ■中突堤

2月の入港実績は「にっぽん丸」の2。

# 【クルーズ船】4月の入港予定情報

## 4月も春の客船入港ラッシュ！！4月は延べ18隻が入港します！！

- ・神戸への**初入港**は2隻！！多彩な客船が神戸に寄港します！！
- ・世界一有名なクルーズ客船といわれる「クイーン・エリザベス」が2017年以来、約7年ぶりに寄港します！！

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
ウエステルダム	4/1(月)6:30~18:00	82,862トン	1,964名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
リビエラ	4/3(水)12:00~4/4(木)19:00	66,172トン	1,250名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	4/3(火)12:00~4/4(水)19:00	55,254トン	732名	欧米系	ラグジュアリー	中突堤ターミナル
シルバー・ミュージズ	4/5(金)8:00~23:00	40,791トン	596名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
飛鳥II	4/6(土)12:00~14:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	中突堤ターミナル
ノルウェー جان・ジュエル	4/7(日)6:30~4/8(月)18:00	93,502トン	2,376名	多国籍	カジュアル	ポートターミナル
セレブレティ・ミレニアム	4/11(木)12:30~4/12(金)6:00	91,011トン	2,218名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
アザマラ・ジャーニー	4/14(日)6:00~4/15(月)13:30	30,227トン	690名	欧米系	プレミアム	中突堤ターミナル
パシフィック・ワールド	4/14(日)14:00~18:00	77,441トン	2,010名	日本人 他	カジュアル	ポートターミナル
ウエステルダム	4/15(月)9:00~19:00	82,862トン	1,964名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
チャイナ・マーチャンツ・アデン	4/16(火)12:00~21:00	47,842トン	930名	中国人	ラグジュアリー	ポートターミナル
<b>シーボーン・オデッセイ ★初入港</b>	4/18(木)8:00~18:00	32,346トン	458名	欧米系	ラグジュアリー	中突堤ターミナル
クイーン・エリザベス	4/18(木)8:00~18:00	90,901トン	2,081名	欧米系	プレミアム/ラグジュアリー	ポートターミナル
シルバー・ミュージズ	4/19(金)8:00~4/20(土)23:00	40,791トン	596名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
<b>バイキング・オリオン ★初入港</b>	4/19(金)9:00~20:00	47,842トン	930名	欧米系	プレミアム	中突堤ターミナル
アザマラ・ジャーニー	4/20(土)6:30~21:00	30,227トン	690名	欧米系	プレミアム	中突堤ターミナル
チャイナ・マーチャンツ・アデン	4/27(土)12:00~4/28(日)13:00	47,842トン	930名	中国人	ラグジュアリー	ポートターミナル
MSC ベリッシマ	4/30(火)15:00~23:59	171,598トン	4,418名	日本人 他	カジュアル	ポートターミナル

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。 [神戸市：客船入港予定 \(kobe.lg.jp\)](http://www.kobe.lg.jp)

※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的に ラグジュアリー>プレミアム>カジュアル の順となります。



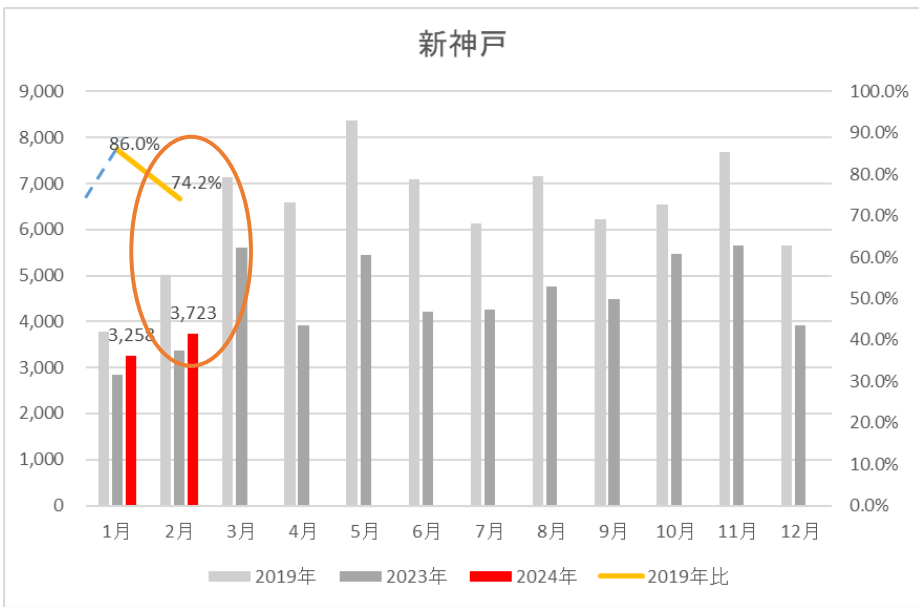
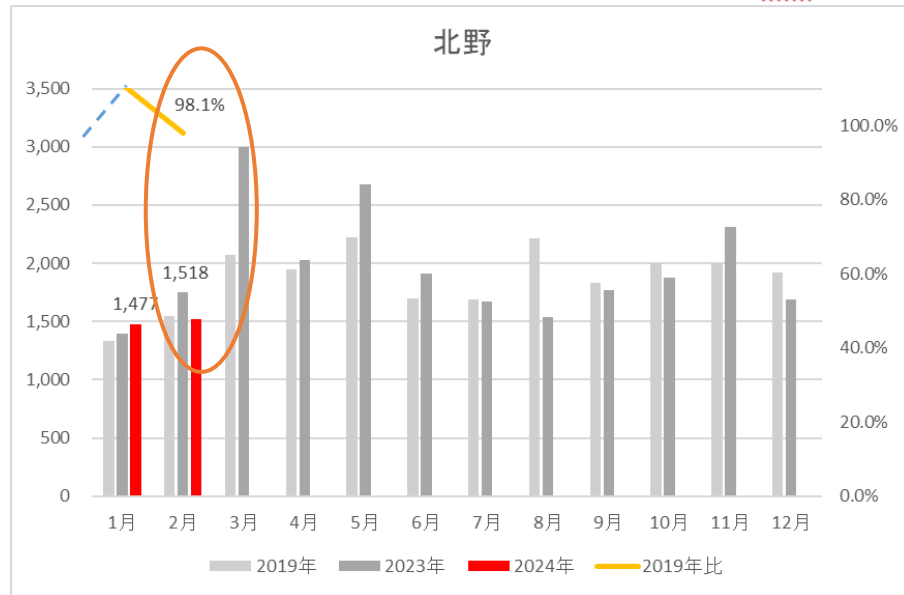
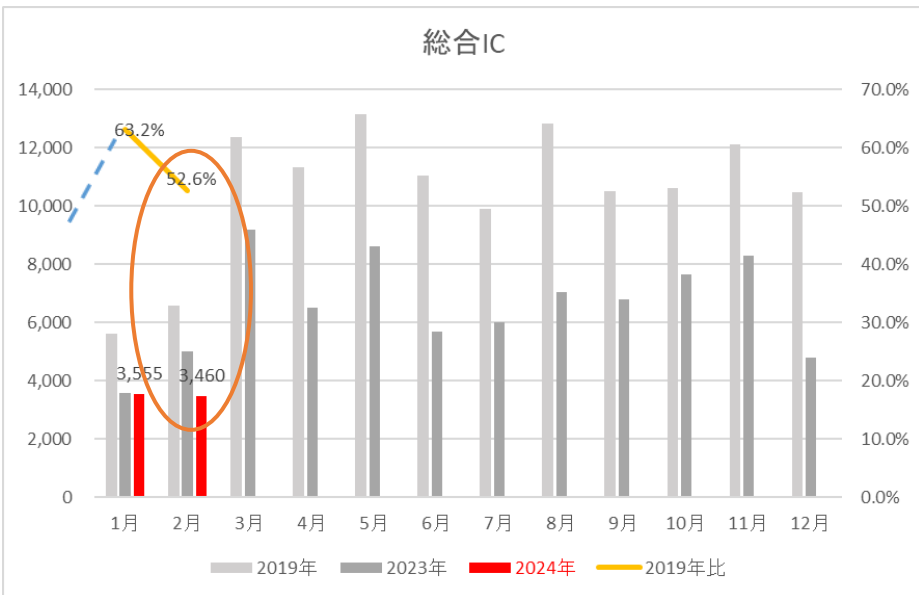
◀ シーボーン・オデッセイ



◀ バイキング・オリオン

神戸市内観光に関する情報  
～神戸観光局オリジナルデータ～

---



## ○総合インフォメーションセンター（JR三宮駅東口南）

前年比79.1%、JR南側の工事の影響がある様子。

## ○北野観光案内所（北野異人館街）

学習旅行、地元の校外学習での生徒が目立つ。

## ○新神戸駅観光案内所（JR新神戸駅構内、改札前）

他府県からの受験生や学会参加者など。

**2月案内所全体件数 8,671件 ⇒ 前月比 104.9% 2019年比 80.9%**

# 市内観光案内所（インバウンド） 国籍別窓口対応状況（2024.2）

国・地域	総合IC	北野	新神戸	
アジア	韓国	301	108	39
	中国	475	154	95
	台湾	343	125	64
	香港	114	15	22
	タイ	68	9	21
	シンガポール	29	15	19
	マレーシア	98	12	14
	インドネシア	43	2	3
	フィリピン	24	9	7
	ベトナム	11	0	6
	インド	11	2	5
	パキスタン			
	バングラデシュ			
	その他アジア	828	20	82
中東	イスラエル			
	トルコ			
	イラン			
	その他中東	14		1
ヨーロッパ	英国	3	4	6
	フランス	14	19	26
	イタリア	1	5	8
	ロシア			
	ギリシャ			
	アイルランド			
	その他ヨーロッパ	103	13	22
アフリカ	南アフリカ共和国			
	エジプト			
	その他アフリカ		3	
北アメリカ	米国	43	13	27
	カナダ	2	4	5
	メキシコ	3	2	4
	その他北米			
南アメリカ	ブラジル	2		2
	アルゼンチン			3
	コロンビア			
	その他中南米	1	4	5
オセアニア	オーストラリア	6	4	35
	ニュージーランド	3		
	その他オセアニア			
地域不明	3	11	139	
	(人) 2543	553	660	

## 〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者2,543人、前月比111.8%。  
コロナ禍以前2019年同月比60.3%。
- ・外国客船の入港はなし。春節期間中は、台湾・香港・韓国からのインバウンドが目立った。中国本土からのインバウンドも多かったが、コロナ禍以前と比べると大幅に減少。中国からのインバウンドは、中国語での対応を求める方が非常に多い印象。
- ・**忘れ物に関するトラブル**が非常に多かった（日本人観光客含め）。  
また、先月に引き続き**ロッカー利用に関する問い合わせ**も目立った。  
(空きがない/場所を忘れた/荷物が入らない)

## 〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者553人、前月比108%。  
コロナ禍以前2019年同月比81.8%。
- ・アジア系が約85%を占めた。2月はアジア系の中では中国が約33%で1位。続いて台湾、韓国、香港、シンガポールの順番。
- ・質問、要望は日本人と大差なく**マップのご希望（母国語あるいは英語版）**が大半。  
その他、中国人より南京町・有馬へのアクセスやバス時刻表の問合せ、シンガポール人より神戸牛のレストランの質問、フランス人よりマンホールカードの要望、春節関連イベントの場所の質問など。

## 〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者660人、前月比92.5%。  
コロナ禍以前2019年同月比96.7%。
- ・今月は、六甲山のスキー場、明石海峡大橋、有馬温泉などの質問が多かった。  
他に、交通チケット Kansaiwidepass、Kansaiexpress、JRpass、淡路島・徳島方面高速バス案内、関西広域（京都や奈良への交通アクセス）、広島・博多・名古屋・熱海・東京への新幹線でのアクセスに関する質問も引き続き多い。
- ・珍しいご案内としては、日系ブラジル人のお客様が、祖父母が出発した神戸港をみたいと希望された事例があった。  
また昨今の**日本ウィスキー人気の影響か、ウィスキーやワインを取り扱っている酒商店へのアクセス案内**もあった。

2月案内所全体件数 3,756件 ⇒ 前月比107.3%  
2019年比60.7%



## ○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・ 2月中下旬～3月中旬は平日260件ほど・休日360件ほど。
- 〔客層〕
  - ・ 国内、男女年配層・卒業旅行のグループ・クルーズ船乗客・学会参加者。
  - ・ インバウンドは、アジア系・ヨーロッパ系・韓国のファミリーなど。
- 〔行き先〕
  - ・ 国内、アトア・摩耶山・アンパンマンミュージアム・北野・フロインドリーブなど。
  - ・ アジア系、有馬・六甲山・摩耶山・相楽園・北野・どうぶつ王国・メリケンパークなど。
  - ・ 欧米系、異人館・灘五郷・生田神社・布引・人と防災未来センター・森林植物園など。
- 〔内容〕
  - ・ **須磨シーワールドやポートタワーなど施設リニューアルに関する問い合わせが多い。**
  - ・ クルーズ船乗客が他都市へ行くケースが相変わらず多く、夕方にターミナルに戻るための問合せ。

## ○ 北野観光案内所

通所営業時間  
9-18時 (3月～10月)  
9-17時 (11月～2月)

- 〔客数状況〕 ・ 2月中下旬～3月中旬は平日90件ほど・休日130件ほど。
- 〔客層〕
  - ・ 国内、50～60代のグループやご夫妻・若者カップル・校外学習の生徒など。
  - ・ インバウンドは、台湾・中国・香港・シンガポール・カナダ・イタリア・フランスなど。
- 〔行き先〕
  - ・ 国内、異人館巡り・布引の滝・生田神社・南京町・夜景目的での六甲山、摩耶山など。
  - ・ アジア系、各異人館・神戸ビーフ・ハーブ園・南京町など。
  - ・ 欧米系、各異人館・ハーブ園・有馬・神戸ビーフレ스토랑・にしむら珈琲など。
- 〔内容〕
  - ・ 広島から神戸を経由して東京へ戻るフランス人女性が、異人館・宗教寺院・ハーブ園へ。
  - ・ **欧米系（フランス人）より神戸牛の産地、牧場などについて詳しく知りたいとの要望。**

## ○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

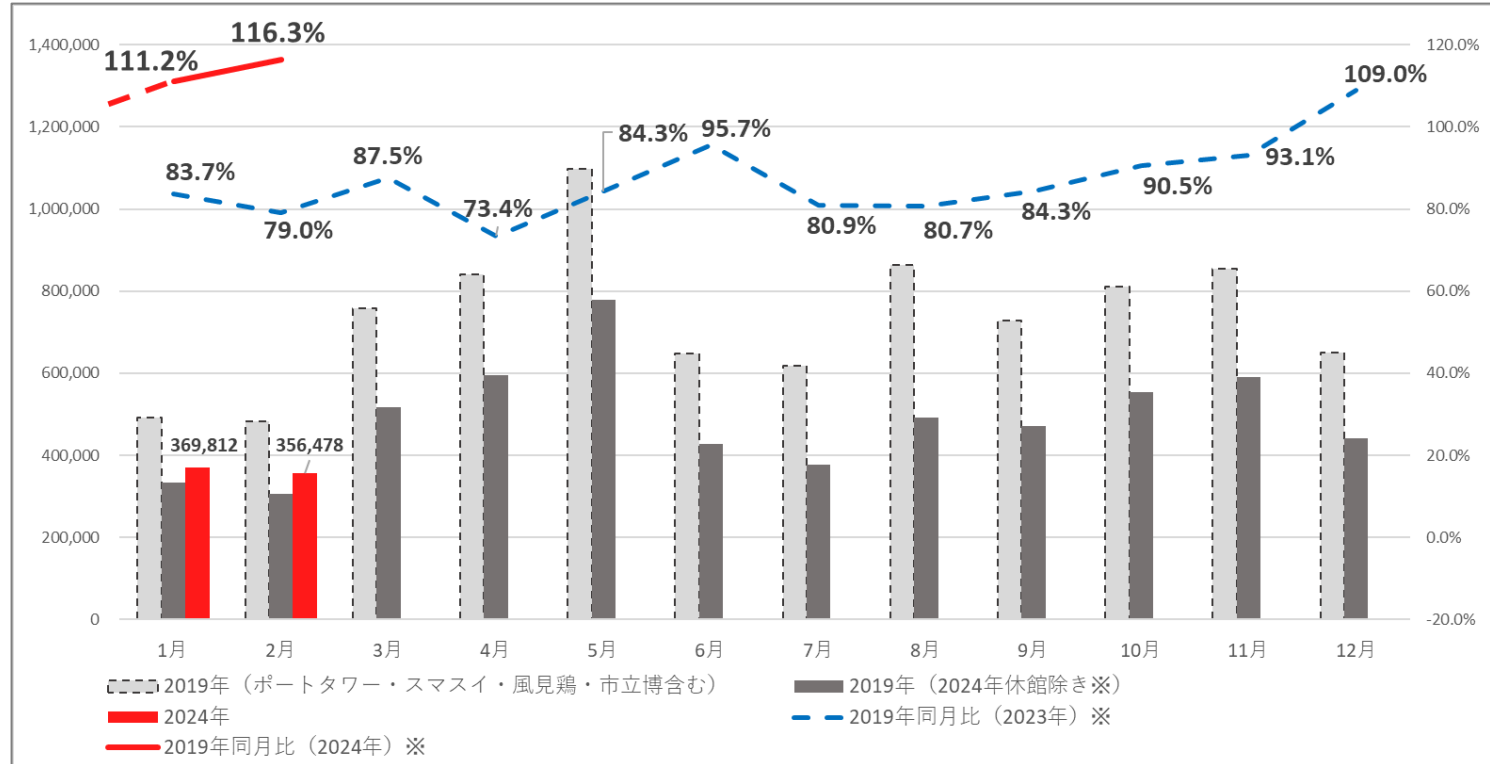
- 〔客数状況〕 ・ 2月中下旬～3月中旬は平日160件ほど・休日230件ほど。
- 〔客層〕
  - ・ 国内、女性グループ・会社関係の団体・学会参加者、受験生など。
  - ・ インバウンドは、アジア系中心、クルーズ船乗客など。
- 〔行き先〕
  - ・ 国内、アトア・北野・南京町・有馬・六甲山・布引の滝・滝山城跡へのハイキングなど。
  - ・ インバウンド、神戸ビーフレ스토랑・人気スイーツ店・六甲山牧場・ハーブ園など。
- 〔内容〕
  - ・ **クルーズ船乗客が、新幹線を利用して京都・大阪へ行くケースの他、数時間の行先相談も。**
  - ・ 宿泊を伴う観光スポットの相談、受験生よりホテルや大学へのアクセスの案内が多い。

# 主要市内観光施設来場者数（2024.2）

- ・2月の来場者数は、コロナ前を超える116.3%で推移。  
（ただし、開館中の施設ベースの比較であり、市全体の施設来場者数としては、改装工事等による施設の休止に伴い2019年より減少。）
- ・春節により中国からの観光客が増加。また、暖冬の影響で屋外施設（動物園やクルーズ船）も好調。

来場者数(人)

2019年比



※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較（2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：スマスイ、2023年10月～：風見鶏の館、神戸市立博物館）  
（2024年1月～：ポートタワー、スマスイ、風見鶏の館、神戸市立博物館、北野工房のまち）

※2019年の来場者数は、2024年時点で改装中の施設を含んだグラフと、含まないグラフ両方を掲載。

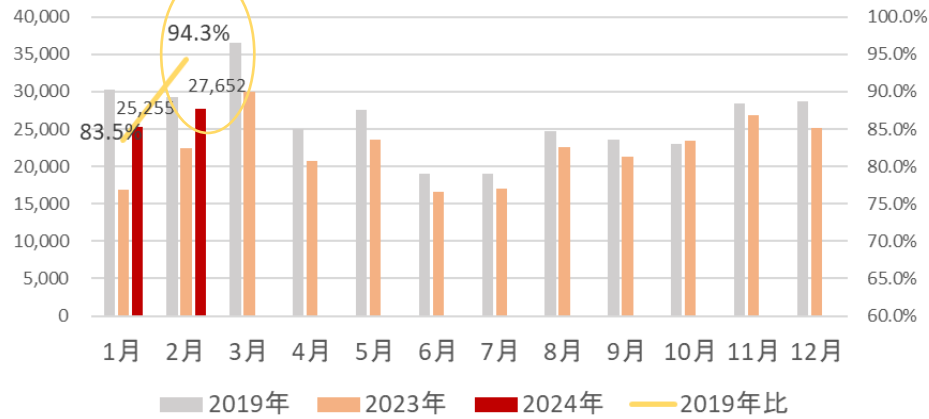
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年（ポートタワー・スマスイ・風見鶏・市立博含む）	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2019年（2024年休館除き※）	332,680	306,441	517,159	594,670	779,428	428,633	378,112	492,679	472,084	554,206	590,920	441,095	5,888,107
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	500,273	595,734	651,646	580,809	6,632,715
2024年	369,812	356,478											726,290
2019年同月比（2023年）※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	84.3%	90.5%	93.1%	109.0%	
2019年同月比（2024年）※	111.2%	116.3%											

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

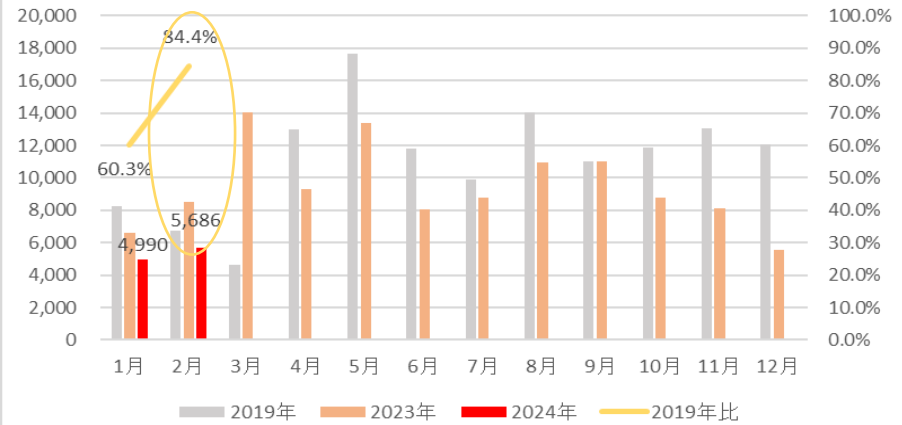
集計対象施設：全19施設（ラインの館、北野工房のまち、王子動物園、神戸どうぶつ王国、神戸布引ハーブ園、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、道の駅フルーツ・フラワーパーク大沢など）

# 所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

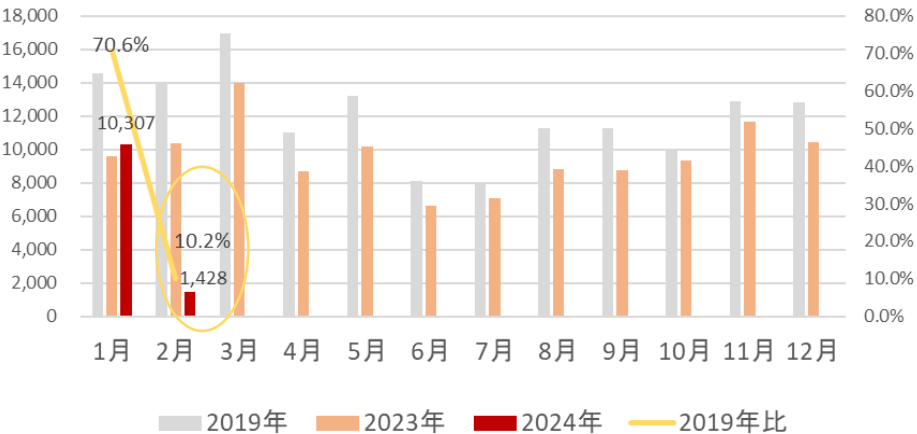
## 金の湯



## 萌黄の館



## 銀の湯



### 【コメント】

2月の入館者数は5,686人で、前月比113.9%。  
東アジアを中心とした外国人来館比率が上がっている。  
(2月度来館者数の約4分の1を占める)



### 【コメント】

平日の利用者が多く増えており、特に外国人（韓国・中国系）の利用者が増加している。  
銀の湯が2月5日～4月下旬まで休館。



# 神戸市内大型施設の主な催事情報(4～5月) 3月19日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出  
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記  
 ※神戸観光局経営推進部調べ



4月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目				6日 ラブライブ! サンシャイン!!		6日 第72回 兵庫県学生バドミントン選手権大会
2週目	7日 grirose 1DAY POP-UP STORE 10～12日 第67回日本形成外科学会総会・学術集会			13日 杉山清貴&オメガドライブ	13日 神戸市室内管弦楽団 第162回定期演奏会『英雄が時代を拓く』	7日 ジャパンラグビーリーグワン 7日 第72回 兵庫県学生バドミントン選手権大会
3週目	18～20日 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会	18～20日 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会	20～21日 Bリーグ 2023-24 B2リーグ 戦 第32節 神戸ストークスVS. 熊本ヴォルターズ	14日 BUDDiS 17～18日 D-LITE (ディライト) 19日 中国雑技団 20日 石川さゆり		20～21日 第72回兵庫リレカーニバル
4週目	21日 兵庫県 保育園・幼稚園・認定こども園 合同就職フェア 2024		27～28日 ケツメイシ KTM TOUR 2024 あっちこっちでマリアッチ♪	21日 葉加瀬太郎 26日 TULIP 27日 ベリーグッドマン	21日 小曾根真 Special ろうぎんコンサート 2024	21日 第57回兵庫県空手道選手権大会前期小学生 27～28日 第45回 兵庫県ジュニア新体操選手権大会
5週目					28日 STU48 コンサート	28日 第18回兵庫県のじぎく障害者スポーツ大会 車いす使用者の部

5月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目			3日・5～6 FUKUYAMA MASAHARU WE'RE BROS. TOUR 2024 Flowers and Bees, Tears and Music.	3～4日 超特急	3～6日 第37回こうべ全国洋舞コンクール	3日 第78回 兵庫県民スポーツ大会バドミントン競技 17～24日 世界パラ陸上競技選手権大会
2週目			10～12日 2024 BAEKHYUN ASIA TOUR Lonsdaleite	5日 BABY SHARK LIVE! 10日 ビヨーンズ 11日 フォレスト	11日 神戸市混声合唱団 『合唱コンクール課題曲コンサート2024』	
3週目	12日 grirose 1DAY POP-UP STORE 18～19日 第65回日本卵子学会学術集会	18日 IJK2024ー第28回 神戸国際宝飾展	18～19日 ラブライブ! 蓮ノ空女学院スクールアイドルクラブ	18日 鈴木雅之	18日 貞松・浜田バレエ団 ファミリーバレエ コッペリア～お人形の恋の物語～	17～25日 世界パラ陸上競技選手権大会
4週目	23～25日 公益社団法人 日本薬剤学会第39年会(APSTJ)	22～23日 第178回 2024秋冬 日本グランド シューズコレクション & 全国サンダルフェア 22～23日 第126回 2024秋冬もの 日本 シューズ産業見本市	25～26日 ミュージカル『テニスの王子様』 4thシーズン Dream Live 2024 ～Memorial Match～	19日 沢田研二 24日 .ENDRECHER. LIVE TOUR 2024 「RE」	19日 六甲ヴェルデ吹奏楽団 第30回記念 定期演奏会 19日 木嶋真優 ヴァイオリン・リサイタル	
5週目	29～31日 第61回 日本伝熱シンポジウム			26日 ナオト・インティライミ	26日 神戸土曜会合唱団 第67回定期演奏会	31～2日 第77回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

## 参考資料集

---

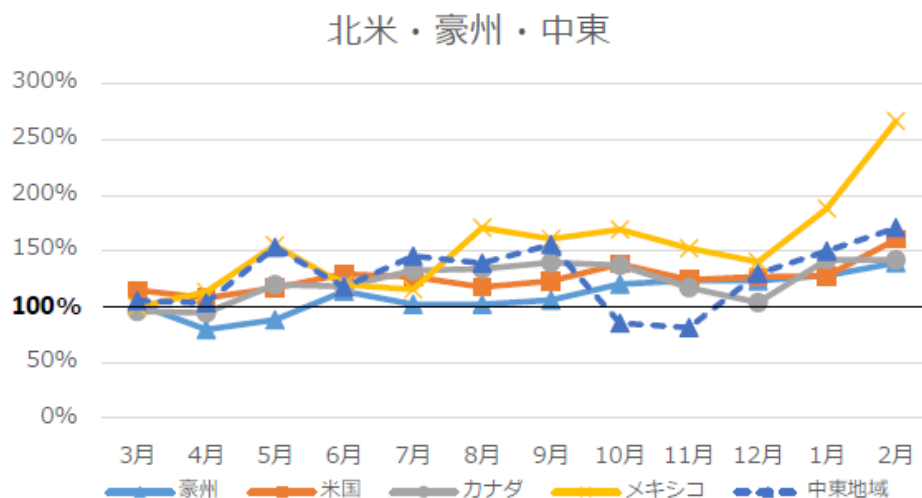
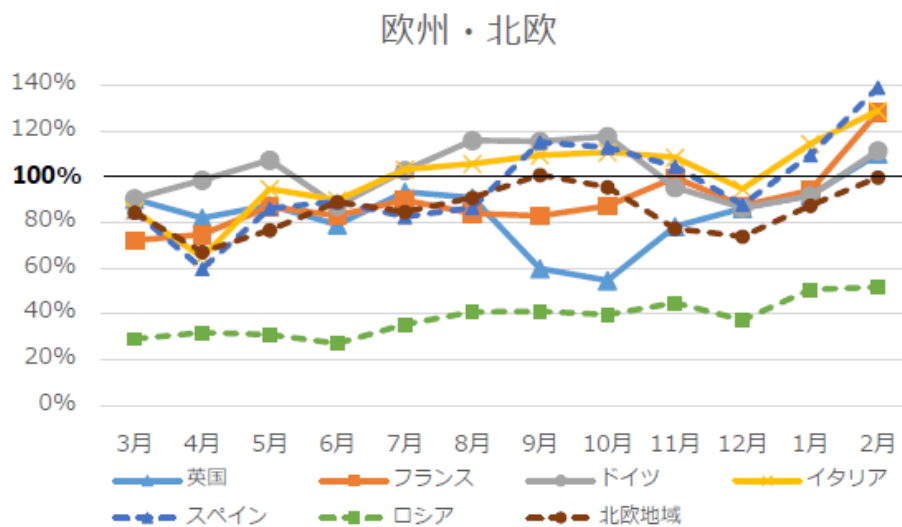
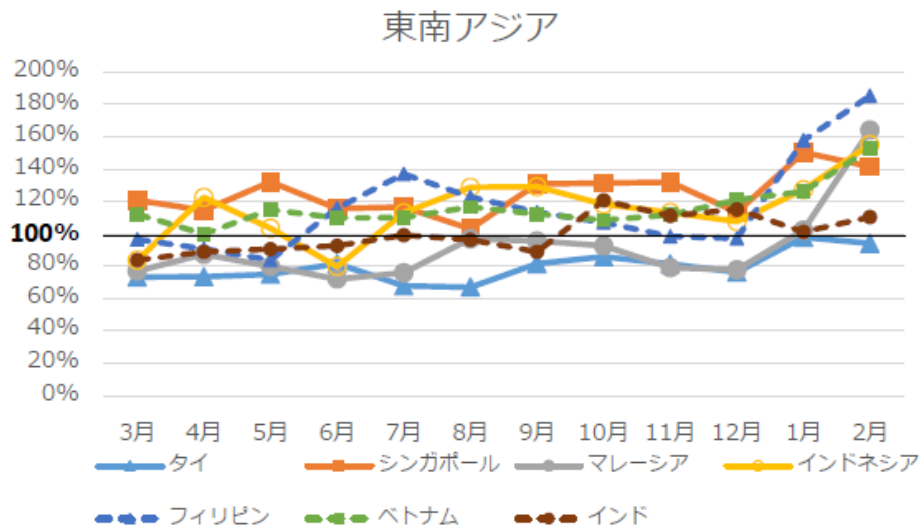
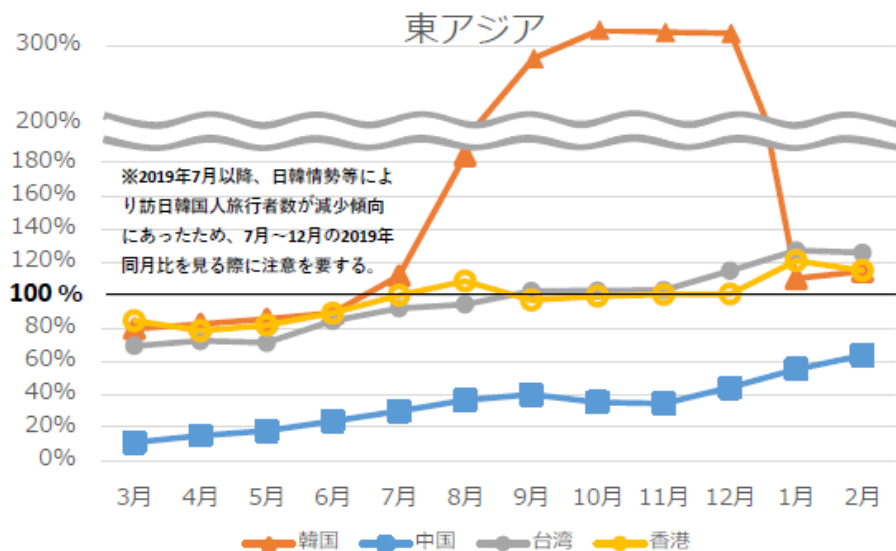
# 2024年2月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 2月	2024年 2月	伸率(%)	2019年 1月～2月	2024年 1月～2月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,604,322	2,788,000	7.1	5,293,661	5,476,100	3.4
韓国	South Korea	715,804	818,500	14.3	1,495,187	1,675,500	12.1
中国	China	723,617	459,400	-36.5	1,478,038	875,300	-40.8
台湾	Taiwan	399,829	502,200	25.6	787,327	994,500	26.3
香港	Hong Kong	179,324	205,900	14.8	333,616	392,200	17.6
タイ	Thailand	107,845	101,400	-6.0	200,494	192,000	-4.2
シンガポール	Singapore	26,102	36,900	41.4	48,778	71,000	45.6
マレーシア	Malaysia	36,660	60,200	64.2	68,059	92,300	35.6
インドネシア	Indonesia	24,622	38,200	55.1	57,099	79,500	39.2
フィリピン	Philippines	35,170	65,200	85.4	71,157	122,000	71.5
ベトナム	Vietnam	39,377	60,100	52.6	74,752	104,700	40.1
インド	India	9,071	10,000	10.2	21,539	22,600	4.9
豪州	Australia	47,658	66,500	39.5	128,721	170,100	32.1
米国	U.S.A.	92,669	148,700	60.5	195,860	280,500	43.2
カナダ	Canada	23,883	33,900	41.9	46,176	65,600	42.1
メキシコ	Mexico	2,889	7,700	166.5	6,504	14,500	122.9
英国	United Kingdom	23,554	25,900	10.0	45,108	45,700	1.3
フランス	France	17,397	22,300	28.2	32,717	36,700	12.2
ドイツ	Germany	13,384	14,900	11.3	24,742	25,300	2.3
イタリア	Italy	5,897	7,600	28.9	11,930	14,500	21.5
スペイン	Spain	4,533	6,300	39.0	8,915	11,100	24.5
ロシア	Russia	5,601	2,900	-48.2	11,917	6,100	-48.8
北欧地域	Nordic Countries	8,924	8,900	-0.3	17,389	16,300	-6.3
中東地域	Middle East	3,630	6,200	70.8	7,566	12,100	59.9
その他	Others	56,882	78,200	37.5	120,070	156,000	29.9

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

# 2023年3月～2024年2月訪日外客推移（2019年同月比）

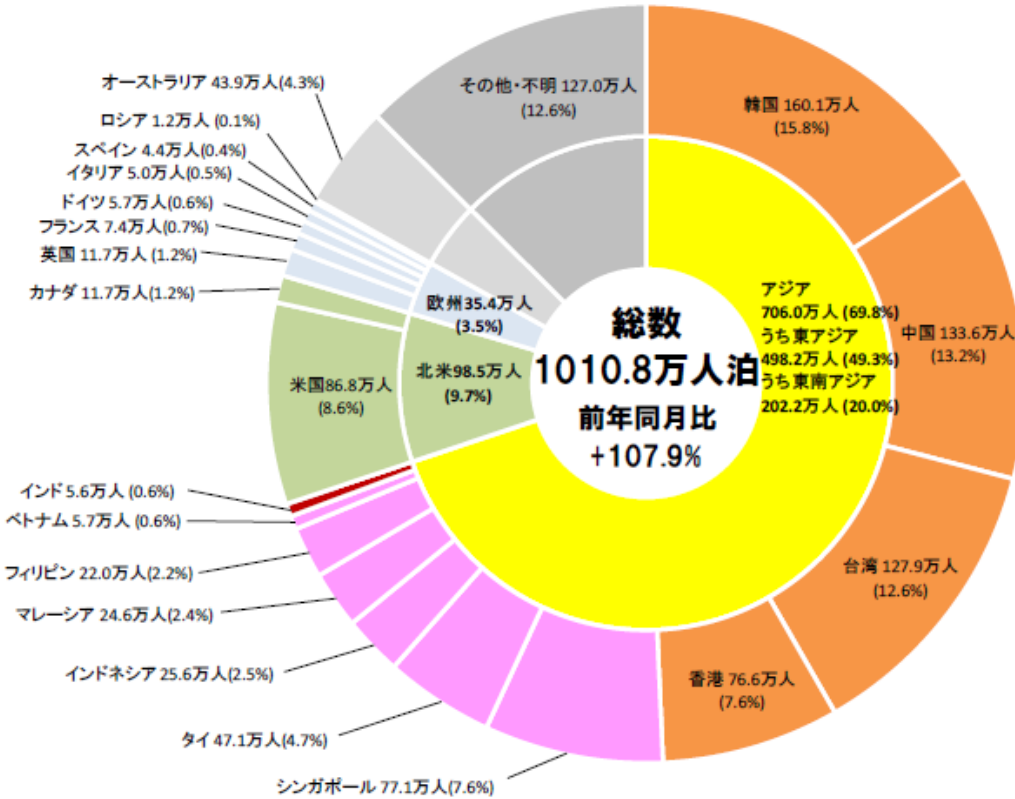


(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、2019年の数値と比較している。

# 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.12月）

- 令和5年12月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が韓国、第2位が中国、第3位が台湾、第4位が米国、第5位がシンガポールで、上位5ヵ国・地域で全体の57.8%を占める。
- 韓国が1位となり着実な回復が見られる。多くの国で2019年を上回る回復率を見せており、特に2019年同月比で最も伸びたのは韓国(2019比+295.6%増)、続いて米国(+60.7%増)、オーストラリア(+55.9%増)。

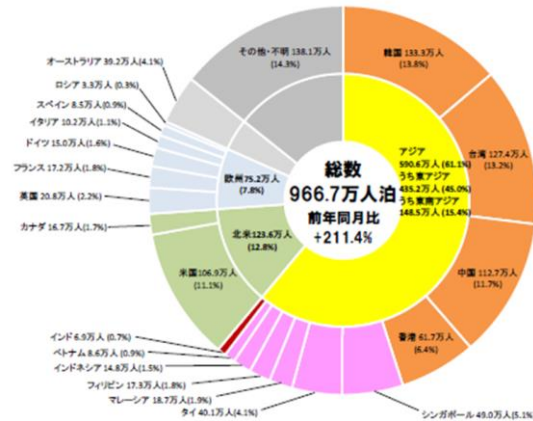
国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(2023年12月(第2次速報))



順位	国籍(出身地)	合計		2019年同月比	前年同月比
		(人泊)	シェア		
第1位	韓国	1,600,920	15.8%	+295.6%	+77.2%
第2位	中国	1,336,270	13.2%	-41.2%	+304.0%
第3位	台湾	1,278,610	12.6%	+35.1%	+167.4%
第4位	米国	867,720	8.6%	+60.7%	+81.4%
第5位	シンガポール	770,890	7.6%	+43.5%	+87.5%
第6位	香港	766,090	7.6%	+2.5%	+60.7%
第7位	タイ	470,980	4.7%	+2.4%	+66.7%
第8位	オーストラリア	438,520	4.3%	+55.9%	+159.7%
第9位	インドネシア	256,340	2.5%	+14.4%	+109.0%
第10位	マレーシア	246,360	2.4%	-2.8%	+77.9%
第11位	フィリピン	220,290	2.2%	+25.4%	+120.3%
第12位	カナダ	117,470	1.2%	+37.2%	+84.0%
第13位	英国	116,840	1.2%	+17.7%	+71.6%
第14位	フランス	74,120	0.7%	+12.0%	+57.1%
第15位	ベトナム	57,440	0.6%	+6.6%	+46.9%
第16位	ドイツ	57,030	0.6%	+8.5%	+66.7%
第17位	インド	55,870	0.6%	+26.5%	+106.8%
第18位	イタリア	50,060	0.5%	+22.5%	+164.4%
第19位	スペイン	43,780	0.4%	+30.2%	+165.8%
第20位	ロシア	12,170	0.1%	-59.6%	+71.2%
	その他	829,820	8.2%	+19.5%	+84.6%
	合計	10,108,170	100.0%	+23.4%	+107.9%

【参考】前月分

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(2023年11月(第2次速報))



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。  
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。  
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。



# 都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.10～2023.12)



(延べ宿泊者数単位：人泊)

## 【順位】

順位	10月			11月			12月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
1	13東京都	4,545,380	168.5%	13東京都	4,152,190	169.6%	13東京都	4,285,900	173.9%
2	27大阪府	2,001,520	133.7%	27大阪府	2,040,800	144.6%	27大阪府	2,154,690	153.3%
3	26京都府	1,417,920	120.3%	26京都府	1,466,170	134.2%	01北海道	1,174,150	114.4%
4	01北海道	523,450	94.9%	40福岡県	504,030	171.9%	26京都府	1,080,910	135.4%
5	40福岡県	459,370	112.9%	01北海道	473,490	114.5%	40福岡県	547,800	190.0%
6	47沖縄県	420,920	70.1%	47沖縄県	354,970	74.4%	47沖縄県	367,160	68.0%
7	12千葉県	332,150	86.1%	14神奈川県	288,610	100.6%	12千葉県	338,830	91.0%
8	14神奈川県	280,500	88.8%	12千葉県	283,430	79.2%	14神奈川県	252,500	98.6%
9	23愛知県	200,750	67.4%	23愛知県	241,330	78.9%	23愛知県	249,320	84.7%
10	34広島県	157,190	95.5%	19山梨県	166,930	98.8%	20長野県	171,930	110.8%
11	20長野県	152,070	127.9%	44大分県	158,020	230.2%	44大分県	161,640	213.4%
12	21岐阜県	139,220	87.7%	34広島県	151,440	142.2%	19山梨県	154,390	109.9%
13	19山梨県	135,620	90.3%	17石川県	136,150	150.3%	21岐阜県	135,890	99.5%
14	17石川県	131,770	123.2%	22静岡県	135,680	71.3%	43熊本県	114,090	154.4%
15	43熊本県	118,000	127.1%	21岐阜県	126,110	92.3%	17石川県	109,820	147.6%
16	28兵庫県	111,640	97.0%	43熊本県	119,110	142.7%	22静岡県	107,270	69.0%
17	44大分県	109,280	77.3%	28兵庫県	113,690	103.7%	28兵庫県	104,070	116.3%
18	22静岡県	103,510	45.9%	20長野県	111,000	127.0%	34広島県	95,800	129.4%
19	04宮城県	72,170	105.4%	30和歌山県	73,660	114.3%	15新潟県	57,880	87.3%
20	09栃木県	70,570	123.3%	09栃木県	61,980	119.0%	04宮城県	53,780	109.9%
21	37香川県	66,150	58.7%	37香川県	61,860	88.8%	37香川県	45,690	107.1%
22	02青森県	64,190	90.4%	04宮城県	54,970	100.4%	42長崎県	44,340	105.8%
23	03岩手県	60,440	108.9%	42長崎県	48,700	104.6%	46鹿児島県	41,300	58.3%
24	42長崎県	49,380	104.9%	33岡山県	45,950	92.0%	30和歌山県	38,250	101.3%
25	30和歌山県	48,100	68.7%	46鹿児島県	45,520	67.8%	33岡山県	35,240	107.0%
26	33岡山県	39,510	78.9%	29奈良県	39,140	88.5%	09栃木県	29,650	100.3%
27	46鹿児島県	35,300	46.0%	02青森県	35,310	101.8%	06山形県	29,600	101.0%
28	16富山県	34,840	102.8%	25滋賀県	34,080	83.4%	10群馬県	28,590	119.4%
29	29奈良県	32,900	73.3%	38愛媛県	33,840	150.3%	29奈良県	28,440	93.8%
30	25滋賀県	32,080	92.9%	03岩手県	31,570	85.1%	38愛媛県	23,800	157.5%

順位	10月			11月			12月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
31	24三重県	30,040	83.5%	10群馬県	28,810	102.6%	25滋賀県	23,370	75.7%
32	10群馬県	27,820	120.9%	07福島県	26,350	126.9%	03岩手県	22,880	67.6%
33	07福島県	27,280	102.5%	15新潟県	23,810	88.5%	02青森県	22,260	101.6%
34	15新潟県	25,620	114.5%	16富山県	23,060	70.1%	24三重県	21,570	79.2%
35	38愛媛県	24,310	112.8%	24三重県	22,700	65.7%	07福島県	21,380	138.3%
36	08茨城県	23,390	89.1%	11埼玉県	19,710	109.9%	41佐賀県	20,440	86.1%
37	11埼玉県	20,530	98.8%	08茨城県	18,690	92.2%	11埼玉県	19,470	111.6%
38	06山形県	20,450	103.8%	41佐賀県	17,870	55.3%	16富山県	13,200	69.1%
39	05秋田県	18,780	73.8%	06山形県	17,080	80.3%	45宮崎県	11,880	41.9%
40	39高知県	18,020	176.3%	36徳島県	16,960	110.9%	08茨城県	10,510	78.2%
41	36徳島県	16,760	120.9%	45宮崎県	16,850	62.3%	39高知県	9,540	146.5%
42	41佐賀県	15,460	72.0%	39高知県	15,890	151.5%	36徳島県	8,490	82.6%
43	45宮崎県	11,010	39.1%	35山口県	12,120	141.3%	35山口県	8,250	139.8%
44	35山口県	9,940	152.0%	05秋田県	10,760	74.3%	31鳥取県	7,850	53.3%
45	18福井県	8,670	108.2%	31鳥取県	10,090	54.7%	05秋田県	6,850	63.4%
46	31鳥取県	8,340	59.1%	18福井県	8,040	80.8%	18福井県	6,690	76.4%
47	32島根県	6,620	59.1%	32島根県	7,270	58.2%	32島根県	5,150	99.2%
全国		12,258,920	119.5%		11,885,770	131.1%		12,302,500	134.0%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(令和5年10～12月・第2次速報)

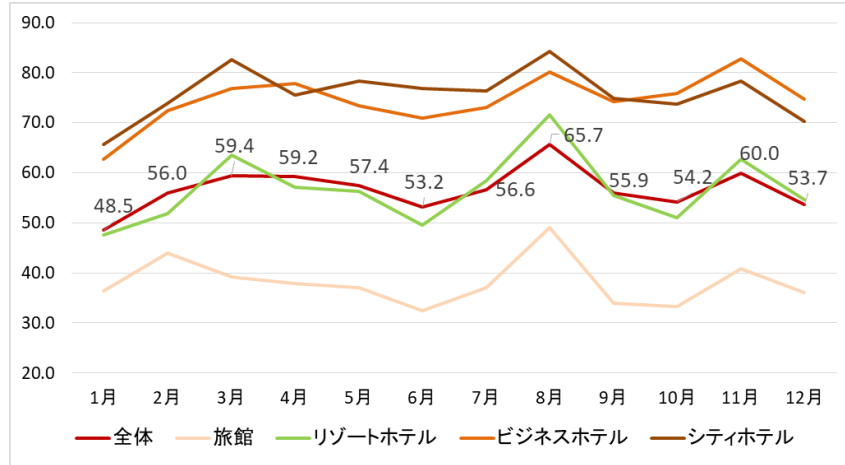
- 外国人延べ宿泊者数のトップ3は、4月以降、東京、大阪、京都であったが、今月は北海道が3位にランクイン。次いで、京都、福岡となっており、トップ5はコロナ前を超えて回復。
- 兵庫県は、2019年12月比では116.3%程度の回復率と、コロナ前を超える回復を見せ始めている。
- 依然、地域によって回復率はばらつきが生じている。

# 宿泊タイプ別客室稼働率

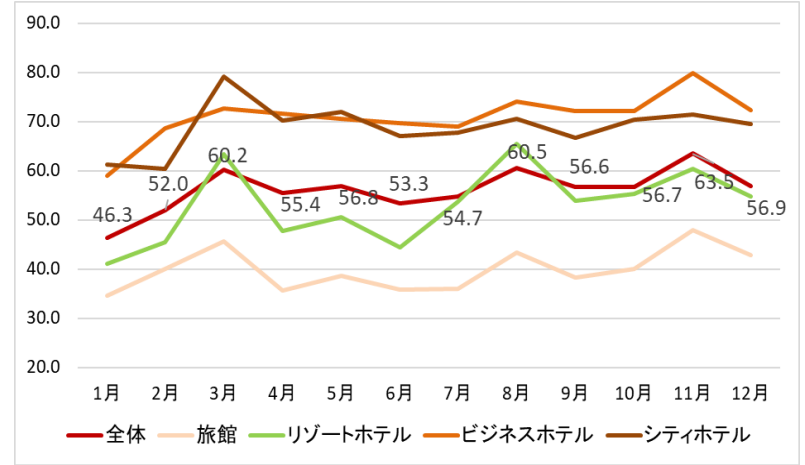
2019年／2023年比較

## 【兵庫県】

(2019年)

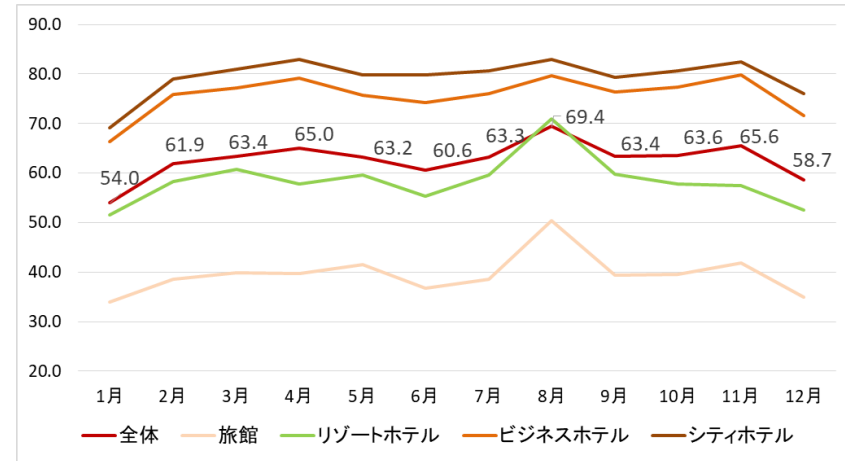


(2023年)

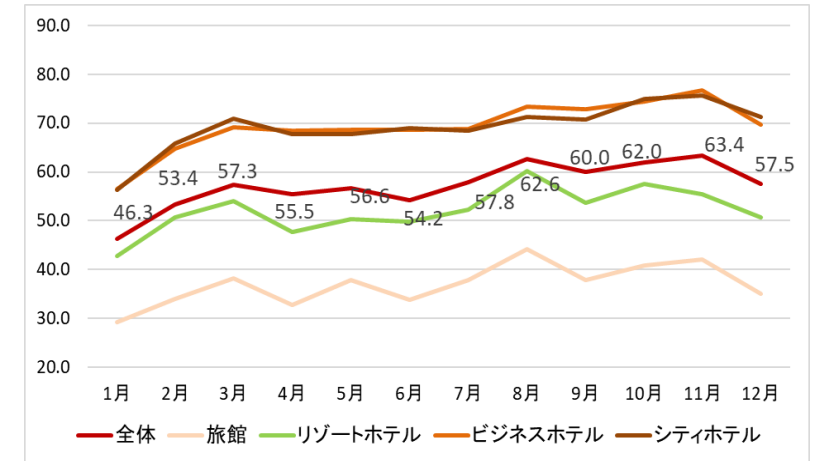


## 【全国】

(2019年)



(2023年)



## 世界の運航状況

2023年3月と比較した2024年3月の座席数

地域	前年比
世界	108%
西欧	107%
東欧	109%
北米	104%
中米	107%
南米	108%
東アジア	115%
東南アジア	117%
中東	106%
太平洋(豪州ほか)	108%

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出  
<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

- ・ 今月成長率が最も高い航空会社は、中国の航空会社が上位2社占める。(中国国際航空/123.1%、中国東方航空/112%)
- ・ 2つの国が互い訪問する上位3か国は、**日本-中国 (+682.3%)**、**韓国-中国 (+347.7%)**、**タイ-中国 (+166.7%)** ⇒ **中国が力強い成長。**

## 世界の座席利用率(2024年1月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	80.8% -0.6p	82.6% 0.6p	日本	68.7% 1.9p
欧州	85.1% 2.1p	77.3% -3.3p	中国	80.2% -1.9p
北米	78.2% -1.7p	79.4% -1.3p	インド	88.9% 2.9p
中南米	85.0% 2.6p	86.0% 3.5p	米国	79.8% 0.7p
中東	79.9% 5.4p	79.9% 5.2p	豪州	72.4% -5.7p
合計	79.9% 0.1p	79.7% -0.2p	合計	80.2% 0.7p

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

- ・ 1月の業界全体の有償旅客キロ数 (RPK) は前年比116.6%と増加。特に中国の増加が目立っている。

※RPK (Revenue Passenger-Kilometers)  
 各有償旅客が搭乗し、飛行した距離の合計。 有償旅客数×輸送距離

# 関西国際空港・神戸空港の利用状況(2023年2月～2024年1月) 3月14日時点



関西国際	2023年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月
総旅客数(人)	1,456,834	1,756,841	1,651,773	1,808,219	1,892,675	2,123,912	2,265,940	2,101,187	2,279,864	2,245,578	2,340,174	2,216,821
2019年比(%)	-42	-39	-40	-34	-30	-24	-29	-15	-10	-12	-8	-15
国際線 発着数(回)	6,197	7,496	8,227	8,660	8,786	9,663	9,903	9,918	10,361	10,422	11,168	11,128
2019年比(%)	-48	-44	-38	-36	-34	-30	-28	-22	-19	-19	-19	-19
外国人 旅客数(人)	736,776	808,116	960,417	989,324	1,095,837	1,202,909	1,211,871	1,114,589	1,328,258	1,312,630	1,459,803	1,385,691
2019年比(%)	-46	-43	-39	-33	-28	-22	-12	-4	+1	-1	+10	-3
国内線 旅客数(人)	552,232	698,171	524,658	574,587	539,419	597,974	619,088	606,585	621,524	560,494	535,830	501,999
2019年比(%)	+5	+9	-8	-4	-2	-2	-6	+2	+10	-1	-3	-9

神戸	2023年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月
国内線発着 回数(回)	2,755	3,014	2,788	2,845	2,744	3,059	2,919	2,897	3,090	3,084	2,887	2,743
2019年比(%)	+25	+21	+13	+8	+14	+19	+7	+4	+11	+9	-6	-2
国内線 旅客数(人)	263,184	316,365	262,558	290,845	275,898	290,661	313,651	296,352	312,315	289,069	270,485	260,577
2019年比(%)	-18	-6	-9	-14	+1	-4	±0	+2	+6	-3	-5	-7

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

# 神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2023年2月～2024年1月)

3月20日時点



路線	内容	23年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年1月
新千歳	旅客数(人)	44,358	50,793	37,584	48,405	51,985	54,162	55,414	53,866	50,225	43,196	42,492	46,235
	利用率(%)	81.7	80.5	62.1	77.1	85.0	86.3	91.3	88.4	79.2	70.4	66.3	73.5
青森	旅客数(人)	2,358	3,965	2,654	3,674	3,550	3,566	4,113	3,357	3,669	2,815	831	899
	利用率(%)	50.2	76.1	52.7	70.5	70.4	68.5	81.7	66.6	70.4	57.3	61.8	67.3
花巻	旅客数(人)	2,166	3,863	2,560	3,023	3,022	3,304	4,168	3,508	3,508	2,998	1,206	1,097
	利用率(%)	50.0	78.1	52.5	59.2	60.0	63.4	82.7	69.7	67.4	59.5	65.5	82.1
仙台	旅客数(人)	14,349	18,112	14,971	17,174	15,719	14,945	18,479	18,116	19,023	18,105	15,938	13,858
	利用率(%)	73.7	83.9	70.5	78.2	74.0	68.1	88.5	85.3	86.7	85.2	72.6	63.1
新潟	旅客数(人)	1,583	2,632	209	1,005	-	-	1,305	-	-	-	-	-
	利用率(%)	33.7	62.7	62.2	85.5	-	-	77.7	-	-	-	-	-
茨城	旅客数(人)	20,508	26,489	21,642	23,741	22,066	22,222	27,430	23,125	25,985	25,650	22,447	20,017
	利用率(%)	69.0	80.5	67.9	72.1	69.3	67.5	86.1	72.6	78.9	80.5	68.2	61.1
羽田	旅客数(人)	69,384	79,594	70,589	73,973	69,628	70,971	75,956	74,804	78,029	75,378	76,490	68,498
	利用率(%)	87.4	88.6	81.1	82.5	79.7	79.1	88.0	86.0	86.1	87.0	84.6	78.5
松本	旅客数(人)	5,610	7,479	5,912	7,350	6,729	7,489	7,906	7,766	8,125	7,173	5,498	5,280
	利用率(%)	61.8	73.0	58.7	70.7	66.8	71.9	78.5	77.2	78.0	73.3	54.6	53.0
高知	旅客数(人)	2,409	3,190	2,178	2,731	2,154	2,592	3,149	2,666	2,638	2,458	2,239	1,988
	利用率(%)	53.8	64.5	43.9	52.5	42.7	49.8	63.5	52.9	50.7	48.8	43.1	43.1
長崎	旅客数(人)	20,435	25,737	22,612	24,397	21,535	22,591	24,780	25,593	26,987	25,011	22,927	21,952
	利用率(%)	68.7	78.2	71.0	74.1	67.0	68.6	81.9	80.3	83.3	78.5	69.6	69.6
鹿児島	旅客数(人)	14,804	15,665	13,997	16,745	14,390	14,167	16,500	17,183	18,301	17,471	16,278	16,543
	利用率(%)	74.7	71.4	65.9	76.3	67.7	64.5	83.2	80.9	83.4	82.9	74.2	75.4
那覇	旅客数(人)	53,212	63,904	54,825	54,986	52,787	59,661	59,058	52,309	60,584	55,432	51,647	51,006
	利用率(%)	77.2	82.3	72.7	69.9	75.1	72.5	83.5	70.9	79.4	75.1	67.7	67.2
下地島	旅客数(人)	7,905	9,299	7,936	7,482	8,039	8,584	7,796	8,487	9,318	8,224	7,095	7,019
	利用率(%)	79.8	84.7	74.7	70.5	78.3	78.2	84.7	82.7	84.9	77.4	64.7	64.0